

# 郡山市ふれあい科学館年報

## — 令和4年度版 —



宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を語ろう!」  
渡部潤一名誉館長と宇宙タレント黒田有彩さん



全国プラネタリウム大会2022・郡山



はやぶさ2帰還カプセル等特別展示 in 郡山



第15回星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム



スペースパーク企画展  
「あそぶどうぶつずかん」



スペースパーク企画展  
「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社



# 目 次

はじめに	
<b>I 施設のあらまし</b>	
1 設置目的	1
2 運営方針	2
3 施設概要	3
4 組織概要	5
5 歴代館長	6
6 沿革	6
<b>II 令和4年度事業活動実績</b>	
1 宇宙劇場運営	
(1) プラネタリウム番組投映	21
(2) 宇宙劇場コンサート	26
2 展示ゾーン運営	
(1) 体験型展示物の運転	31
(2) 常設展示物の活用	31
(3) 科学普及事業	33
3 展望ロビー利活用事業	
(1) パブリックビューイング	37
(2) 展望ロビーパネル展	37
(3) Nゲージ鉄道ジオラマ	37
(4) 展望ロビーイルミネーション	38
4 展示ゾーン利活用事業	
(1) 企画展	40
(2) パソコン工房の活用	46
(3) 学校長期休業期間の特別事業	47
(4) 団体利用向け科学教室	48
(5) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない	49
5 教育普及活動	
(1) 学校向け巡回展	50
(2) 講師派遣	50
(3) 職場体験としての機会提供	54
(4) クラブ活動	55
(5) 講座・講演会	56
(6) 観望会	65
(7) 学習支援	67
6 宇宙や科学に関する情報発信事業	
(1) 企画パネル展	68
(2) 学術発表	68
7 作品募集	70
8 出版	
(1) 年報の発行	72
(2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行	72
9 調査・研究	
(1) 天文関連協議会調査	73
(2) 天文学術会議調査	73
(3) 天文最新情報調査	73
(4) 展示協議会等調査	73
(5) 展示最新情報調査	74
(6) 会津大学宇宙情報科学研究センターとの共同研究	74
10 その他	
(1) 運営協力	75
(2) ボランティア活動の推進	76
<b>III 令和4年度広報・営業活動</b>	
1 広報PR活動	
(1) 広報戦略活動	81
(2) 広報紙の配布	82
2 営業活動	82
<b>IV 令和5年度事業活動計画</b>	
1 宇宙劇場運営	83
2 展示ゾーン運営	88
3 展望ロビー利活用事業	89
4 展示ゾーン利活用事業	90
5 教育普及活動	94
6 宇宙や科学に関する情報発信事業	98
7 作品募集	98
8 出版	99
9 調査・研究	99
10 その他	99
<b>V 令和5年度広報・営業活動</b>	
1 広報PR活動	
(1) 広報戦略活動	101
(2) 広報紙の配布	102
2 営業活動	102
<b>VI 予算・決算</b>	
1 令和4年度決算	103
2 令和5年度予算	104
<b>VII 施設利用状況</b>	
1 月別入館者数	105
2 施設別入館者数	106
3 宇宙劇場区分別入館者数	110
4 展示ゾーン区分別入館者数	111
5 平成29年度から令和3年度までの入館者数の変遷	113
6 令和4年度施設利用状況の結果分析	116
<b>VIII その他</b>	
1 条例・規則	119
2 利用案内	128
3 スペースパークボランティアの会会則	129

## はじめに

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大して3年目の年でした。7月から9月の第7波、10月から2月までの第8波と2度の流行がありましたが、前年度同様様々な感染症対策を実施して、一度も休館することなく来館者をお迎えしながらの施設運営、事業実施をすることができました。

令和4年度の主な事業としましては、新型コロナウイルス感染症の影響により延期を余儀なくされていた「全国プラネタリウム大会」（「全国プラネタリウム大会 2022・郡山」）を6月に、「第15回 星空案内人（星のソムリエ®）シンポジウム」を3月に開催することができました。全国のプラネタリウムや科学館職員等を対象に福島県内では初めての開催となりました。新型コロナウイルス感染症対策の一環としてオンライン参加を併用したハイブリッド方式を採用し、参加者同士による意見交換や情報提供の場になると同時に、当館の活動について伝えることができ実り多い大会となりました。

そして、8月には、「はやぶさ2帰還カプセル等特別展示 in 郡山」を開催しました。令和2年12月6日に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル等の展示を通して「はやぶさ2」ミッションの意義や成果を紹介しました。特に福島県は「はやぶさ2」に関連する技術や研究で多くの企業や大学が携わっており、「はやぶさ2」をより身近に感じ、宇宙への興味・関心を喚起することができたと思っています。

その他、4年度の主な事業ですが、宇宙劇場では夏には「ハナビリウム 花火って、なんであるの?」、「HAYABUSA2 ~REBORN」冬には「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」、展示ゾーンでは、夏のスペースパーク企画展は「あそぶどうぶつずかん」、冬のスペースパーク企画展は「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」を開催しました。

前年7月以来、空席となっていた当館の名誉館長に渡部潤一国立天文台出席教授が10月に就任されました。渡部先生には開館前から、館の運営や連携事業について相談・助言をいただいており、名誉館長就任後にも渡部先生と宇宙タレント黒田有彩さんのトークイベントを開催いたしました。今後も専門的見地から助言・協力等を賜りたいと思っております。

また、当館のキャラクター「エンゼルナ」・「ミーニヤン」の制作者であり、初代名誉館長をお務めいただいた漫画家の松本零士先生が2月にご逝去されました。名誉館長在任中は、毎年のように当館のイベントにご出席いただき、来館された皆さんとの交流や、先生の作品を通じた「宇宙への夢を持てる科学館づくり」など当館事業に大変ご尽力いただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

最後になりますが、令和5年5月から新型コロナ感染症の感染症法の位置付けが季節性インフルエンザと同等（5類感染症）に引き下げられます。ウイズコロナ・アフターコロナの時代を見据えて施設運営・事業実施の充実を図っていきたいと考えております。

今後とも、皆様方の温かいご支援とご意見等をいただきながら、常に進化続ける「グローバルミュージアム」、SDGs「質の高い教育をみんなに」の視点に立って鋭意努力してまいります。

より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館  
館長 佐藤 宏

# I 施設のあらまし

## 1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている21世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対する夢や希望を育むとともに、多くの皆さんのがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しております。具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

### (1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

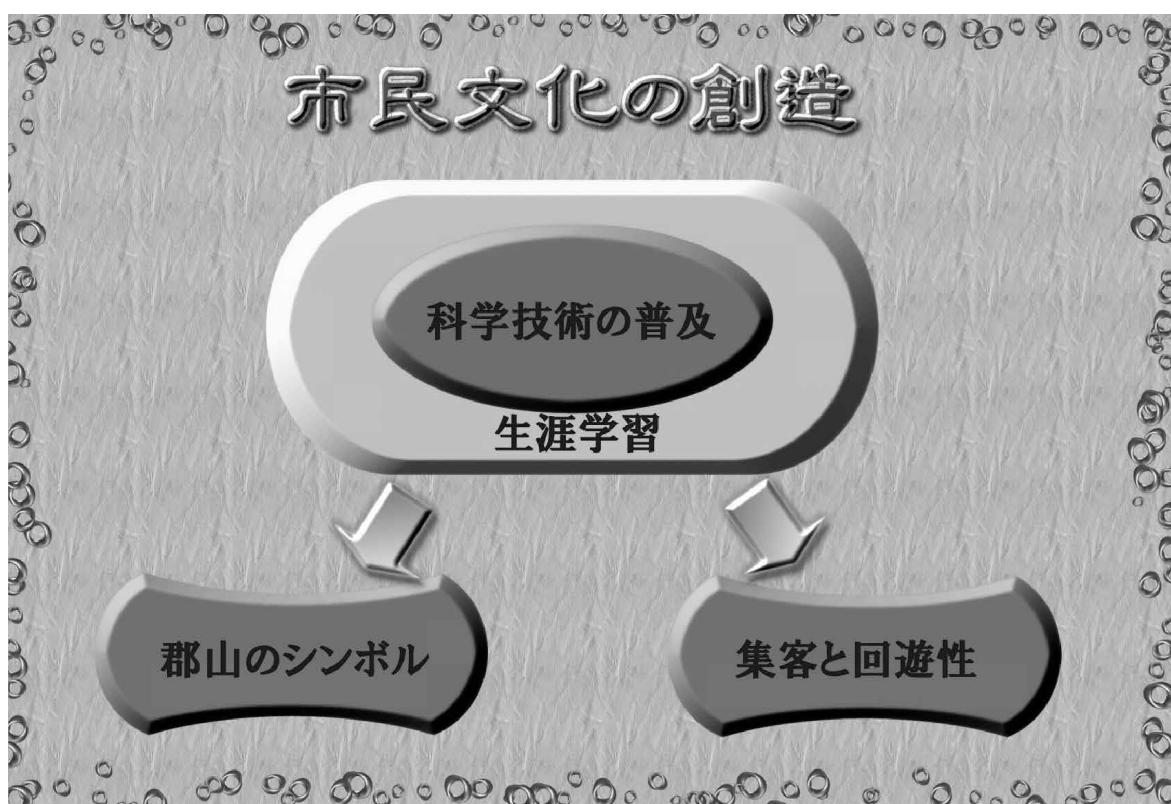
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

### (2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

### (3) 都心部の回遊性と集客

21世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”的シンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



## 2 運営方針

### 基本コンセプト

#### 宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

### 基本テーマ

#### 地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローリング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

### ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

### ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

### ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



#### ◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

#### ◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもつて来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

## ◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

## 3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号  
(ビッグアイ 20 ~ 24 階)  
構造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造  
※ビル全体の構造（地上高 133 m）  
面積：4,337.37m<sup>2</sup>（内専用部分 3,459m<sup>2</sup>）

### 宇宙劇場 — 23・24F —

#### 劇場、ホワイエ

##### ○規模

直径 23 m（傾斜型）、座席数 238 席

##### ○機器

スーパーへリオス、全天ビデオシステムほか

##### ○展示品

アースタッキング

### 展望ロビー — 22F —

#### メインエントランス

##### ○展示品

N ゲージ鉄道ジオラマ（運転シミュレーター）、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

### 展示ゾーン — 21F —

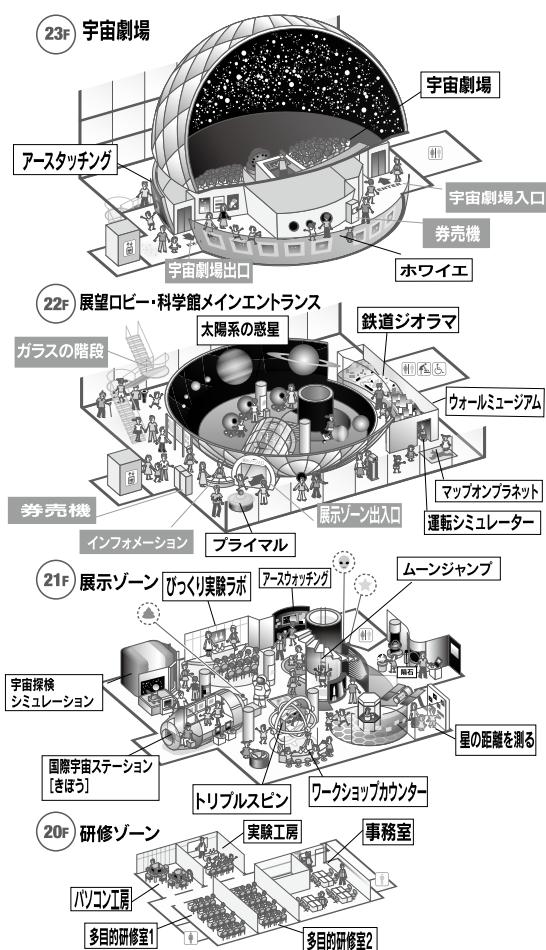
##### ○展示品

- プロローグ -

プロローグ「惑星」、コペルニクスの考え

### 郡山市ふれあい科学館 フロア案内

#### スペースパークフロアマップ



た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか  
－スペースフロンティア－  
国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙服、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか  
－クエスト・オブ・ザ・ユニバース－  
すばる望遠鏡模型＆主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、  
プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか  
－アースウォッチング－  
アースウォッチングほか

### 研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

### 総事業費

4,331,480,716 円

#### －年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

#### －内容別内訳－

建 設 費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事 務 費： 11,717,718円

#### －財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額：3,023,812,680円）

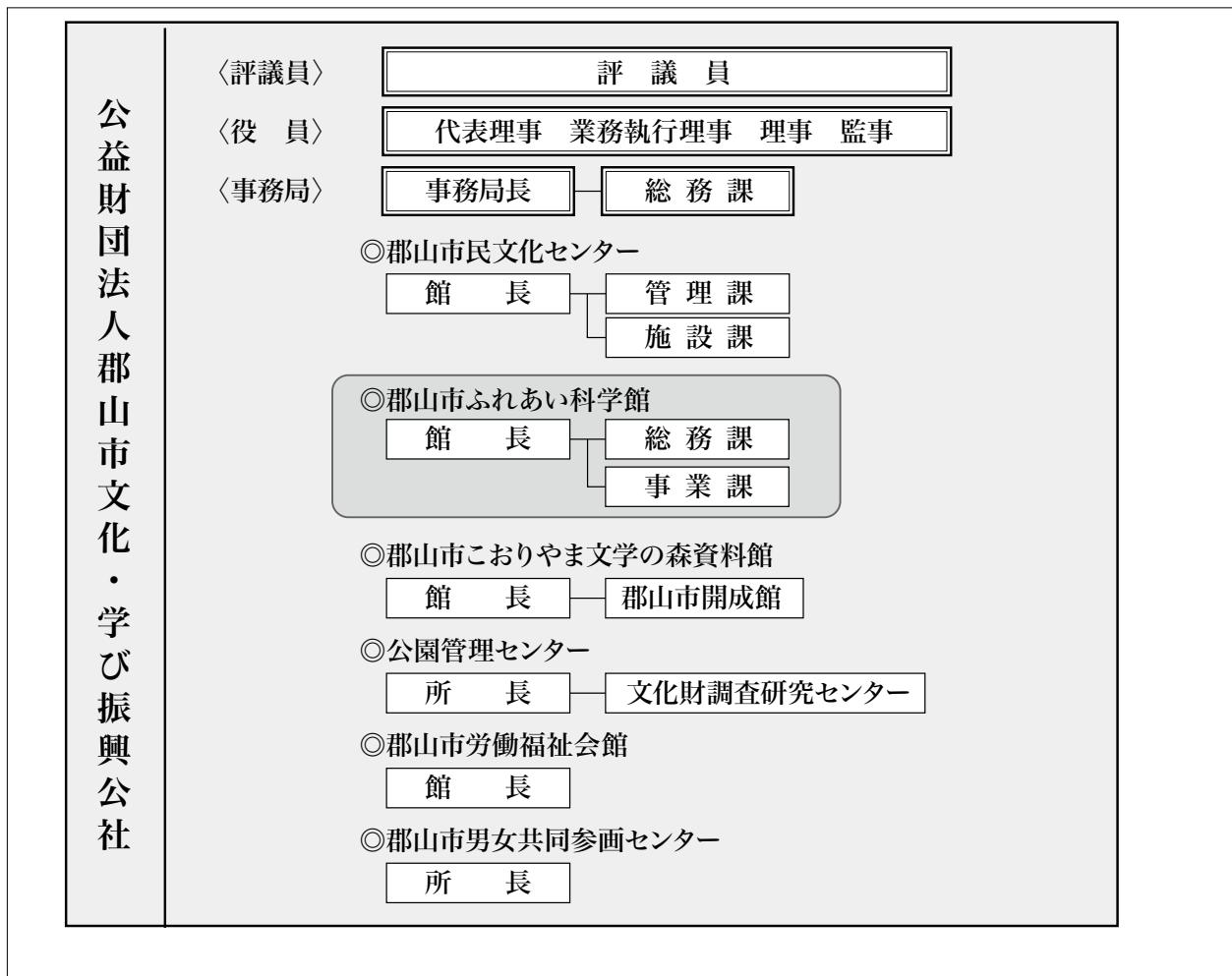
\* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一 般 財 源： 609,403,135円

## 4 組織概要

### (1) 組織図<令和4年度>



### (2) 職員配置 (令和5年3月31日現在)

館長 (嘱) (1)

- 総務課 (7) -

課長 (1)、主任 (2)、臨時職員 (4)

- 事業課 (24) -

課長 (1)、特任専門員 (嘱) (1)、主任 (2)、主査 (2)、主事 (2)、

常勤嘱託職員 (1)、非常勤嘱託職員 (1) 臨時職員 (14)

合計 32 人

## 5 歴代館長

初代館長	永 戸 法 夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大 森 高 志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭 内 政 勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐 藤 秀 一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠 藤 育 夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊 東 利 幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市 川 正 道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間 政 彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡 崎 強	平成30年4月1日～令和3年3月31日
第10代館長	佐 藤 宏	令和3年4月1日～

## 6 沿革

### ▶平成 10年度

#### <平成 10年4月>

- 郡山駅西口再開発ビルの建設設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表  
※郡市教育委員会青少年課が所管

#### <平成 10年10月～平成 11年1月>

- 基本計画策定

### ▶平成 11年度

#### <平成 11年5月～ 11月>

- 基本実施設計策定

#### <平成 12年3月>

- 財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

### ▶平成 12年度

#### <平成 12年4月>

- 郡市教育委員会内に科学館準備室設置

#### <平成 12年9月>

- 科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

#### <平成 12年12月>

- 科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

#### <平成 13年3月>

- 郡山市ふれあい科学館条例制定

### ▶平成 13年度

#### <平成 13年4月>

- ビッグアイに科学館準備室移転

#### <平成 13年7月>

- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

**<平成 13年8月>**

- 22階展望ロビーをプレオープン

**<平成 13年 10月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

**<平成 13年 11月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

**<平成 13年 12月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

**<平成 14年 1月>**

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

**<平成 14年 2月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

- 有料ゾーン入館者が10万人突破

**<平成 14年 3月>**

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

- ロボット犬アイボ導入

**►平成 14年度**

**<平成 14年 6月>**

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

**<平成 14年 7月>**

- 開館1周年記念“松本零士講演会”開催

**<平成 14年 8月>**

- 展望ロビー入館者が50万人突破

**<平成 14年 10月>**

- 常陸宮両殿下御視察

- 開館1周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

**<平成 14年 12月>**

- 開館1周年記念“サイエンスショー”開催

**<平成 15年 3月>**

- 展示ゾーン新展示物設置

H2ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

## ▶平成 15 年度

### <平成 15 年 4 月>

- 特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジの世界～”開催

### <平成 15 年 6 月>

- 宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

### <平成 15 年 7 月>

- “松本零士のスペースアニメ展”開催
- “松本零士のふれあいトーク”開催
- スペースパークボランティア活動開始

### <平成 16 年 2 月>

- スペースパークボランティアの会設立

### <平成 16 年 3 月>

- 展望ロビー入館者が100万人突破

## ▶平成 16 年度

### <平成 16 年 5 月>

- リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

### <平成 16 年 6 月>

- 有料ゾーン入館者が50万人突破

### <平成 16 年 9 月>

- 高円宮妃殿下御視察

### <平成 16 年 10 月>

- “郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念  
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

### <平成 16 年 11 月>

- 展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

- 天文教育普及研究会・東北支部会開催

### <平成 17 年 2 月>

- 県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

- 郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

## ▶平成 17 年度

### <平成 17 年 9 月>

- AINシュタイン特別企画～不思議な世界紹介～開催（9・10月）

### <平成 18 年 3 月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント “杉木優子びっくりサイエンスショー” 開催

## ▶平成 18 年度

### <平成 18 年 9 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念 “全館企画「宇宙飛行士スペシャル」” 開催  
(9・10月)

### <平成 18 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業 “「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」” 開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」” 開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「螺旋の宇宙誌」” 開催
- 国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

### <平成 18 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「ふくしまから宇宙へ」” 開催

### <平成 19 年 3 月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」” 開催

## ▶平成 19 年度

### <平成 19 年 7 月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」” 投映開始

### <平成 19 年 10 月>

- 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

### <平成 19 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」” 開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

### <平成 20 年 1 月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

## ▶平成 20 年度

### <平成 20 年 6 月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」” 開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」” 開催

### <平成 20 年 7 月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」” 投映開始

### <平成 20 年 12 月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」” 開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」” 投映開始

## ▶平成 21 年度

### <平成 21 年 4 月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

### <平成 21 年 7 月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”投映開始
- “世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

### <平成 21 年 11 月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

### <平成 21 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”投映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

## ▶平成 22 年度

### <平成 22 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”投映開始

### <平成 22 年 11 月>

- “全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

### <平成 22 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展～みて・さわって・うごかして～」”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”投映開始

### <平成 23 年 3 月>

- 「東日本大震災」により 3 月 11 日より休館

## ▶平成 23 年度

### <平成 23 年 4 月>

- 「東日本大震災」により 4 月 28 日まで休館、4 月 29 日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

### <平成 23 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs!～昆虫たちの不思議な物語～」”投映開始
- “はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

### <平成 23 年 8 月>

- “「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

### <平成 23 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

- ・開館10周年記念セレモニー
- ・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」
- ・科学の祭典 in こおりやま
- ・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

### <平成 23 年 12 月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」” 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」” 投映開始

### <平成 24 年 1 月>

- 「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

### <平成 24 年 2 月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

## ▶平成 24 年度

### <平成 24 年 4 月>

- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー” を開催

### <平成 24 年 5 月>

- 郡山駅西口駅前広場及びペデストリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

### <平成 24 年 6 月>

- 郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

### <平成 24 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」” を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

### <平成 24 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」” を12月1日から1月14日まで開催
- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」” を12月1日から2月24日までロングラン投映

### <平成 25 年 1 月>

- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

### <平成 25 年 2 月>

- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」” を夜間投映
- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共に、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

## ▶平成 25 年度

### <平成 25 年 5 月>

- “パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

### <平成 25 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」” を7月20日から8月25日まで投映

### <平成 25 年 11 月>

- “全館企画「アイソンスペシャル！」” を11月9日から12月8日まで開催

- “アイソン彗星観望会” を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

#### <平成 25 年 12 月>

- “冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」” を12月1日から1月13日まで投映
- “スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～” を12月7日から1月13日まで開催

#### <平成 26 年 1 月>

- “天文教育普及研究会東北支部研究会” を開催

#### <平成 26 年 3 月>

- “スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会” を開催

### ▶平成 26 年度

#### <平成 26 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会” を開催
- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」” を7月19日から8月24日まで投映

#### <平成 26 年 9 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展” を9月2日から10月31日まで開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会” を9月27日・28日に開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会” を開催

#### <平成 26 年 10 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」” を10月4日から26日まで投映
- “皆既月食観望会” を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル” を開催

#### <平成 26 年 11 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」” を開催
- JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

#### <平成 26 年 12 月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」” を12月6日から1月12日まで開催

### ▶平成 27 年度

### <平成 27 年 4 月>

- “皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

### <平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

### <平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターアイベント」を開催

### <平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

### <平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザーワーク工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共に、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

### <平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

### <平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

## ▶平成 28 年度

### <平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス - 氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を4月1日から5日まで投映

### <平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

### <平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

### <平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
  - ・開館15周年記念式典
  - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
  - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
  - ・ハイスクール科学祭
  - ・トリックアート展

- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」”を開催

### <平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

### <平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、「Planetarian～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

## ►平成 29 年度

### <平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」「planetarian～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

### <平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

### <平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7

日から9日までアンコール投映

#### <平成29年11月>

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

#### <平成29年12月>

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」”を12月2日から1月8日まで投映

#### <平成30年3月>

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで投映

### ▶平成30年度

#### <平成30年4月>

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで投映

#### <平成30年7月>

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで投映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ！ 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

#### <平成30年8月>

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

#### <平成30年9月>

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

#### <平成30年10月>

- “秋のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」”を10月6日から12月2日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

#### <平成30年12月>

○スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで投映

### <平成31年3月>

○春のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」を3月1日から31日までアンコール投映

## ►平成31年度・令和元年度

### <平成31年4月>

○春のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」を4月1日から7日までアンコール投映

○スペースパーク企画展「フォトラボ 一映える写真はいいねー」を4月27日から5月6日まで開催

### <令和元年7月>

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ~青い海の仲間たち~」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ~青い海の仲間たち~」”を7月13日から8月25日まで投映

○スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る —THE ホラーハウス—」を7月13日から8月25日まで開催

### <令和元年10月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

### <令和元年12月>

○スペースパーク企画展「昭和レトロ展 一親子であそぼう！昭和ワールドー」を12月7日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投映

### <令和2年2月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

## ►令和2年度

### <令和2年4月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展示ゾーンが4月18日から休館（全館休館）

### <令和2年5月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため5月18日まで全館休館、5月19日から全館開館

### <令和2年7月>

○“ドーム映像番組「新・恐竜大進撃」”を7月18日から9月27日まで投映

- 電車のおもちゃで遊ぼう！、企画パネル展「星の衝突で、何ができた？－月のうさぎと私たちの地球－」を7月18日から8月23日まで開催

### <令和2年9月>

- スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」を9月19日から22日まで開催

### <令和2年10月>

- “ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を10月3日から11月29日までアンコール投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月10日・11日に開催

### <令和2年11月>

- 福島民報社との共同主催事業“はやぶさ2パネル展「小惑星探査の旅」”11月20日から12月6日まで開催

### <令和2年12月>

- スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」を12月5日から1月11日まで開催
- “ドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」”を12月5日から1月31日まで投映

### <令和3年2月>

- 福島県沖地震による安全確認のため、2月14日から17日まで休館

## ▶令和3年度

### <令和3年4月>

- 第10代館長 佐藤宏就任

### <令和3年6月>

- 松本零士先生、郡山市ふれあい科学館名誉館長退任

### <令和3年7月>

- “夏休みドーム映像番組「アニマルハンター～どうぶつたちのオモシロ行動学～」”を7月17日から8月22日まで投映
- スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」を7月17日から8月22日まで開催

### <令和3年8月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため8月23日から全館休館

### <令和3年9月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され9月24日から全館開館

### <令和3年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館20周年記念イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、開館20周年記念オンライン企画を10月2日から公式YouTubeチャンネルにて配信

- ・郡山市長あいさつ・20年のあゆみ
- ・20周年記念スペシャル版 スペパ工作
- ・スペースパーク宇宙劇場の舞台裏
- ・ロボットゆうえんちによるロボットショー
- ・鉄道ジオラマショー
- ・はやぶさ2を支えた福島の技術！

- “開館20周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」”を  
10月2日から11月28日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

### <令和3年11月>

- 開館20周年記念 宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を描く」メカデザイナー  
板橋克己さんをゲストに迎え開催
- 開館20周年記念特別企画「メーテルと記念撮影！」を開催

### <令和3年12月>

- スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」を12月4  
日から1月10日まで開催
- “ドーム映像番組「星のまもり鳥～まんてんぼし村とはい色のきり～」、「ヒー  
リングアース」”を12月4日から1月10日まで投映

### <令和4年1月>

- 展望ロビー入館者が500万人突破
- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため1月27日から  
全館休館

### <令和4年3月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され3月7日から展  
望ロビー、8日から宇宙劇場、展示ゾーンが開館
- 福島県沖地震による安全確認のため、3月17日休館

## ▶令和4年度

### <令和4年4月>

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェス  
ティバル『ドーム映像まつり』”を4月29日から5月5日まで投映

### <令和4年6月>

- “全国プラネタリウム大会（「全国プラネタリウム大会2022・郡山」）”を6月  
6日から8日まで開催
- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェス  
ティバル『星兄の爆笑！ プラネタリウムショー』”を開催

### <令和4年7月>

- “夏休みドーム映像番組「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」、

「HAYABUSA2～REBORN」”を7月2日・3日・9日・10日・16日から8月24日まで投映

- スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」を7月16日から8月15日まで開催
- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「もうひとつの“はやぶさ”ミッション」HAYABUSA2～REBORN制作監督 上坂浩光さんを講師に迎え開催

#### <令和4年8月>

- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント「はやぶさ2」帰還カプセル等特別展示 in郡山、ドーム映像番組「HAYABUSA2～REBORN」の追加投映を8月19日から23日まで開催
- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「はやぶさ/はやぶさ2と福島/会津大学」会津大学教授の出村裕英さんを講師に迎え開催

#### <令和4年10月>

- 渡部潤一国立天文台上席教授が10月7日名誉館長に就任
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月8日から10日まで開催
- “宇宙劇場特別イベント「宇宙への夢を語ろう！」”渡部潤一名誉館長、宇宙タレント黒田有彩さんをゲストに迎え開催

#### <令和4年11月>

- 皆既月食観望会を開催、国立天文台でライブ配信が行われ、渡部潤一名誉館長が出演、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

#### <令和4年12月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」を12月3日から1月9日まで開催
- “ドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」”を12月3日から1月9日まで投映

#### <令和5年1月>

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル プラネタリウム キッズアワー特別版『爆笑天文教室 ブラック星博士のスペースパーク征服計画』、プラネタリウム100周年記念 特別講演会『時・暦・プラネタリウム』”を開催

#### <令和5年2月>

- 松本零士先生がご逝去され、先生が2001年10月から2021年6月まで名誉館長として当館で活動された様子を約30点の写真で紹介する特別展示「松本零士先生と郡山市ふれあい科学館 写真で振り返る足跡」を展望ロビーを会場に2月25日から3月31日まで開催

#### <令和5年3月>

- “星のソムリエシンポジウム関連企画 特別講演会「“ほんと”の夜空がある福島」渡部潤一名誉館長を講師に迎え開催

- 第15回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムを3月5日・6日開催
- “春のドーム映像番組「星になったチロ」、「ハナビリウム 花火って、なんで  
あるの？」”を3月24日から31日まで投映

## II 令和4年度事業活動実績

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

**<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分間**

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	19時(※1)	
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	
夏休み期間等 (※2)	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時

※1 金曜日のみ投映

※2 4/29～5/5、夏休み期間、12/3～1/9の土曜・日曜・祝日・冬休み期間

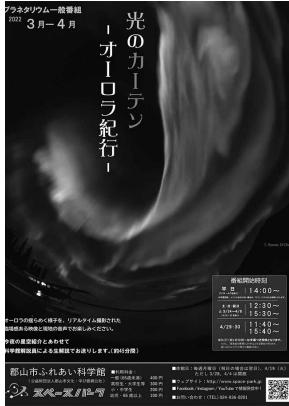
#### 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

**投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第4・6回目、12/3～1/9の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・3/24～31の第2・5回目**

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
光のカーテン－オーロラ紀行－	令和4年4月1日(金)～30日(土)	63回	744人
虹色で見る宇宙	令和4年5月1日(日)～6月30日(木)	96回	2,820人
ビッグバン	令和4年7月1日(金)～8月31日(水)	111回	3,081人
地球と生命	令和4年9月1日(木)～10月30日(日)	95回	2,078人
大望遠鏡が見た宇宙	令和4年11月1日(火)～12月30日(金)	117回	2,019人
合体するブラックホール？－重力波天文学－	令和5年1月3日(火)～2月28日(火)	106回	1,734人
星空の世界旅行	令和5年3月1日(水)～31日(金)	64回	1,393人

**観覧者総数 13,869人**



光のカーテン  
—オーラ紀行—



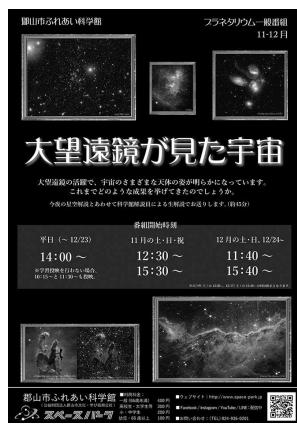
虹色で見る宇宙



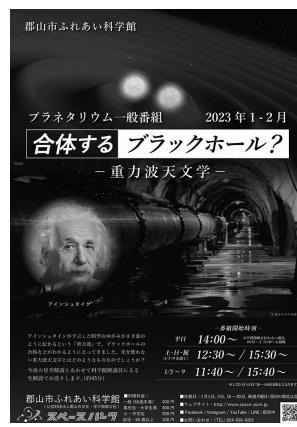
ビッグバン



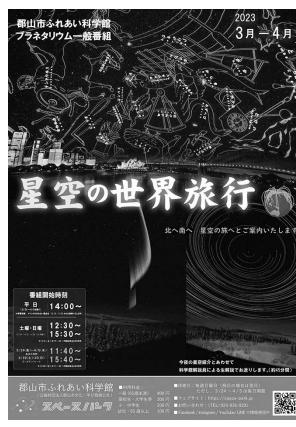
地球と生命



大望遠鏡が見た宇宙



合体するブラックホール?  
—重力波天文学—



星空の世界旅行

## キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を投映した。

**投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、4/29～5/5、**

**12/3～1/9の・土曜・日曜・祝日・冬休み期間・3/24～31の第3回目**

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
ブラックホールたんけんたい	令和4年4月1日(金)～5月29日(日)	44回	1,595人
たなばたのおはなし	令和4年6月4日(土)～7月31日(日)	33回	1,434人
つきりよこう	令和4年8月1日(月)～9月25日(日)	48回	1,907人
宇宙ミステリーツアー 2022	令和4年10月1日(土)～11月27日(日)	40回	1,885人
火星にでかけよう!	令和4年12月3日(土) ～令和5年1月29日(日)	31回	1,133人
オーラのたび	令和5年2月4日(土)～3月31日(金)	39回	1,992人

**観覧者総数 9,946人**



ブラックホールたんけんたい



たなばたのおはなし



つきりょこう



宇宙ミステリーツアー  
2022



火星にでかけよう！



オーロラのたび

## <キッズアワー特別版>

- ☆ 開催日時 令和5年1月22日(日) 14時～14時45分
- ☆ 内容 爆笑天文教室 ブラック星博士のスペースパーク征服計画
- ☆ 観覧者数 125人

### 学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

### 投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座をみつけよう(小学校低学年以上)	通年	12回	554人
日なたと日かけ(小学校中学年以上)		9回	774人
月と星の動き(小学校中学年以上)		32回	2,046人
月と太陽(小学校高学年以上)		2回	81人
地球と宇宙(中学生向け)		1回	31人
宇宙のお話(中学生以上)		1回	21人

観覧者総数 3,507人

**幼児番組** ※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

#### 投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウイーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
なないろどうわとほしめぐり(春)	令和4年4月～5月	1回	60人
おりひめとひこぼし	令和4年6月～8月	21回	1,728人
おつきみとながればし	令和4年9月～11月	17回	802人
ふゆのほしめぐり	令和4年12月～令和5年3月	7回	316人

観覧者総数 2,906人

#### ドーム映像番組

全天周映像(ドーム映像)に星空紹介を加えた娛樂性の高い番組を、学校長期休業期間中に中心に投映した。

<夏休みドーム映像番組「ハナビリウム 花火って、なんであるの?」

「HAYABUSA2 ~ REBORN」>

投映期間：令和4年7月2日～8月24日の第1・3・5回目

<冬のドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」>

投映期間：令和4年12月3日～令和5年1月9日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間(12月24日～令和5年1月7日)の第1・4回目

<春のドーム映像番組「星になったチロ」

「ハナビリウム 花火って、なんであるの?」>

投映期間：令和5年3月24日～31日の第1・4回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
ハナビリウム 花火って、なんであるの?	令和4年7月2日(土)～8月24日(水)	84回	5,235人
HAYABUSA2 ~ REBORN	令和4年7月2日(土)～8月24日(水)	41回	1,128人
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム	令和4年12月3日(土) ～令和5年1月9日(月・祝)	40回	4,366人
星になったチロ	令和5年3月24日(金)～3月31日(金)	7回	232人
ハナビリウム 花火って、なんであるの?	令和5年3月24日(金)～3月31日(金)	7回	295人

観覧者総数 11,256人



ハナビリウム  
花火って、なんであるの?  
HAYABUSA2 ~ REBORN



宇宙なんちゃら  
こてつくん  
プラネタリウム



星になったチロ  
ハナビリウム  
花火って、なんであるの?

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を投映した。(字幕作成協力：要約筆記こおりやま)

☆ 開催日時 令和5年3月11日(土) 15時30分～16時15分

☆ 内 容 一般番組「星空の世界旅行」

☆観覧者数 55人

※2回予定のうち1回は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため投映休止

### ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	令和4年4月14日(木) 10時25分～11時	38人
ほしとおともだち	令和4年5月19日(木) 10時25分～11時	41人
みんなでおつきみ	令和4年8月26日(金) 10時25分～11時	55人
たのしいうちゅうりょこう	令和4年11月17日(木) 10時25分～11時	54人
ほしごらクリスマスかい	令和4年12月16日(金)・22日(木) 10時25分～11時	164人
ふゆのほしめぐり	令和5年2月16日(木)・21日(火) 10時25分～11時	102人

観覧者総数 454人

### いきいきプラネタリウム

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
今夜の星空と並ぶ惑星たち	令和4年5月26日(木) 10時15分～11時	15人
今夜の星空と中秋の名月	令和4年8月25日(木) 10時15分～11時	16人
今夜の星空と 11月8日の皆既月食・天王星食	令和4年10月27日(木) 10時15分～11時	49人
今夜の星空と長寿の星	令和5年3月9日(木) 10時15分～11時	13人

**観覧者総数 93人**

### イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	令和4年8月6日(土) 18時30分～19時	1回	35人
はやぶさ2の軌跡	令和4年8月11日(木・祝) 18時30分～19時30分	1回	40人
中秋の名月の夜	令和4年9月10日(土) 18時30分～19時30分	1回	91人
熟睡プラ寝たりウム	令和4年11月23日(水・祝) 18時30分～19時30分	1回	53人
クリスマスの星空	令和4年12月24日(土)・25日(日) 18時30分～19時30分	2回	129人

**観覧者総数 348人**

### 英語版プラネタリウム

外国人に配慮した市民誰もが気軽に利用できる施設づくりと、インバウンドに対応した利用拡大を目的として、英語による解説を行うプラネタリウム投映を行った。

☆開催日時 令和5年2月26日(日) 18時30分～19時30分

☆内 容 日本語から英語への逐次通訳での今夜の星空解説と、英語ナレーションによるフルドーム映像作品「FROM EARTH TO THE UNIVERSE」の投映。

☆観覧者数 8人

※2回予定のうち1回は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため投映休止

## (2) 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

## 星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽( C D )を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映した。

**投映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目**

**土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)**

**毎週金曜日の第6回目**

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
ピアノロックバンド特集	令和4年4月1日(金)～5月31日(火)	61回	676人
スターライトクラシック vol.7	令和4年6月1日(水)～7月29日(金)	42回	516人
歌い手特集	令和4年8月5日(金)～9月30日(金)	40回	743人
洋楽ヒット曲特集 70's	令和4年10月1日(土)～11月30日(水)	59回	750人
あいのうた	令和4年12月1日(木) ～令和5年1月31日(火)	53回	747人
アンコールスペシャル デュオ特集	令和5年2月1日(水)～28日(火)	28回	423人
アンコールスペシャル 卒業ソング特集	令和5年3月1日(水)～31日(金)	32回	392人

**観覧者総数 4,247人**

## プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

### ①<郡山ウインドアンサンブル ブラスコンサート>

☆開催日時 令和4年7月3日(日) ①11時～11時45分 ②13時30分～14時15分

☆演 奏 郡山ウインドアンサンブル(金管五重奏)

☆参加者数 274人

### ②<星空音楽館☆歌って楽しむプラネタリウム>

☆開催日時 令和4年11月19日(土) ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演 奏 つじむらゆみこ

☆参加者数 115人

### ③< ZABADAK LIVE in spacepark V >

☆開催日時 令和5年3月26日(日) ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演 奏 ZABADAK

☆参加者数 229人



郡山ウインドアンサンブル  
プラスコンサートの様子



星空音楽館☆歌って楽しむプラネタリウム  
の様子



ZABADAK LIVE in spacepark V  
の様子

### (3) 全国プラネタリウム大会

日本プラネタリウム協議会（JPA）と共に開催しての大会の開催、市民向けのプラネタリウムを活用した事業を実施した。

#### 全国プラネタリウム大会 2022・郡山

プラネタリウムの進歩発展を図り、豊かな文化の創造、科学教育及び天文普及に寄与することを目的に、プラネタリウムに関する研究発表、実践報告、基調講演、ブース展示等を行った。

☆ 開催期間 令和4年6月6日(月)～8日(水)

☆ 主 催 日本プラネタリウム協議会

☆ 共 催 郡山市、郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

☆ 協 力 郡山コンベンションビューロー

☆ 参加総数 250人（現地参加210人、オンライン参加40人）

☆ 内 容

日時	内容	現地参加者数
6月6日(月) 10時30分～12時	ウェルカム投映	36人
6月6日(月) 13時30分～17時30分	開会式 日本プラネタリウム協議会 総会 記念講演 ・「Fukushima の夜空から -Under one sky-」 （国立天文台上席教授 渡部潤一氏） ・「はやぶさ／はやぶさ2と福島／会津大学」 （会津大学教授 出村裕英氏）	184人
6月7日(火) 9時30分～18時15分	研究発表・実践報告 口頭発表 ベンダー発表 口頭発表	184人
6月7日(火) 19時～20時30分	ナイトセッション 「震災とプラネタリウム —そのとき何が起きたか?どのように乗り越えたか—」	156人
6月8日(水) 9時30分～12時	ベンダー発表 口頭発表 プラネタリウム100周年記念事業の紹介 閉会行事	157人

6月8日(水) 13時～	オプション研修 ・郡山市ふれあい科学館 ・福島県環境創造センター ・田村市星の村天文台	67人
大会期間中 6月6日(月)12時 ～8日(水)12時	ポスター発表 ベンダーブース展示	



開会行事の様子



記念講演の様子



研究発表・実践報告の様子



オンライン参加者の研究発表の様子



ポスター発表の様子



閉会行事の様子

### プラネタリウムフェスティバル

全国プラネタリウム大会開催を契機に、プラネタリウムの魅力を多角的に紹介し、天文に関する興味関心を喚起することを目的に、全国で特色ある投影を行っているプラネタリウム解説者による講演や、期間限定でのドーム映像番組投映を行った。

#### <ドーム映像まつり>

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
銀河鉄道 999 星空はタイムマシーン	令和4年4月29日(金・祝) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	97人
かいけつゾロリ 宇宙たんけん大さくせん	令和4年4月30日(土) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	170人
ハロークリティ トワインクル☆ムーンライト	令和4年5月1日(日) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	163人
銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き	令和4年5月3日(火・祝) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	139人
おおきなぞうとあっちゃんの星	令和4年5月4日(水・祝) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	70人

名探偵コナン 探偵たちの星月夜	令和4年5月5日(木・祝) 10時30分～11時15分、14時20分～15時05分	2回	225人
--------------------	----------------------------------------------	----	------

観覧者総数 864人

### <星兄の爆笑！プラネタリウムショー>

☆開催日時 令和4年6月5日(日)

①14時30分～15時30分 ②16時30分～17時30分

☆解 説 星兄(田端英樹)

☆観覧者数 127人

### 宇宙劇場特別イベント

#### <宇宙劇場トークイベント>

#### 「宇宙への夢を語ろう！－天文学新発見の夢・宇宙への旅立ちの夢－」>

☆講 師 渡部潤一氏(国立天文台上席教授・名誉館長)

黒田有彩氏(タレント)

☆開催日時 令和4年10月9日(日) 16時～17時40分

☆対 象 一般

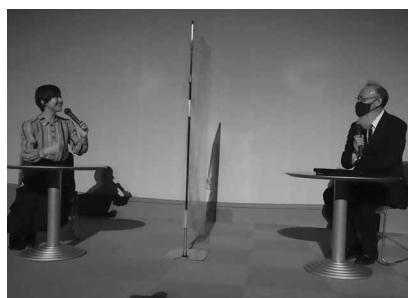
☆参加者数 115人

☆内 容 渡部潤一氏からは「天文学新発見の夢」と題して、大望遠鏡での観測の現状を紹介いただきながら、第9惑星をはじめとした太陽系をより広い姿への理解や、系外惑星での「第2の地球」発見への期待を紹介いただいた。黒田有彩氏からは「宇宙への旅立ちの夢」と題して、Mitakaによる地球から宇宙の果てまでの姿を紹介いただくとともに、宇宙飛行士試験へのチャレンジを通して、今後も宇宙を目指す夢を語っていただいた。

その後、お二人の対談を通して、子どもの頃宇宙への夢をどのように育んだかをご紹介いただいた。



トークイベント「宇宙への夢を語ろう！」  
講演の様子



トークイベント「宇宙への夢を語ろう！」  
対談の様子

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

#### ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を30分ごとに10人程度のところを半数程度にして運用。

#### トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を30分ごとに7人程度のところを半数程度にして運用。

#### 宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 休止

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 1回8人

### (2) 常設展示物の活用

#### 展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図った。

#### <展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

#### <展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

#### <たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾ

ーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

### <ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピノ前

※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため展示を休止した。

### <わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等に開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
絵合わせパズル：干支「とら」	紙を折りたたんで4枚の絵をそろえるパズルを作成した。
ひっくりカエル	ゴムの弾性で跳ね返るペーパークラフトを作成した。
一重風車	全面に風を受けるとくるくる回る風車を作成した。
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストロー口ケットを飛ばすペーパークラフトを作成した。
ぶんぶんこま	中央部に開けた2つの穴に通した紐を引くことで厚紙の板を高速回転させるこまを作成した。
ベンハムのこま	回すと模様が変わって見えるこまを作成した。
クリスマスカード	期間限定のクリスマスカードを作成した。
ジャンピングラビット：干支「うさぎ」	ゴムの弾性で跳ね返るペーパークラフトを作成した。

### 資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

展示区分	備考
小惑星リュウグウサンプルレプリカ（実物大）	JAXA宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクト、JAXA宇宙科学研究所と夢を創る会、銀河連邦サガミハラ共和国（相模原市）（提供）
小惑星リュウグウサンプルレプリカ（10倍サイズ）	

## 資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（寄贈）
	鹿島 34m アンテナの鏡面パネル	国立研究開発法人情報通信研究機構（寄贈）
スペースフロンティア	宇宙服（レプリカ）	
	宇宙服（レプリカ）	
	さわれる宇宙服（レプリカ）	日本宇宙少年団（借用）
	H-IIA ロケット フェアリング	JAXA（借用）
	H-IIB ロケット（1/25 模型）	日本宇宙少年団（借用）
	はやぶさ2衝突装置レプリカ（1/5スケール）	日本工機株式会社（寄贈）
	はやぶさ2衝突装置の衝突体レプリカ（実物大）	東成イービー東北株式会社（寄贈）
その他	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用

※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、通常さわれる展示物もさわれない処置をとった。

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団（借用）

## （3）科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

### サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。約2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約20分間）

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～  
 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～  
 ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ  
 ☆対象 展示ゾーン入館者  
 ☆定員 14人程度(新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和4年4月	シャボン玉で大実験	40回	273人	三角や星型の枠でシャボン玉を作る実験や、水中シャボン玉作りにも挑戦した。また、水素でシャボン玉を作り水素の特性を説明した。
令和4年5・6月	ドレミの音で大実験	80回	870人	ドレミパイプを叩いて、音が鳴る仕組みについて解説し、ドレミパイプの長さを短くすると音が高くなるなどの実験を行った。
令和4年7～9月	燃える科学	154回	1,894人	物が燃えるには三つの要素が必要なことを紹介した。また、燃える物によって独自の色を放つ炎色反応の実験などを行った。
令和4年10・11月	宇宙空間ってどんなどこ？	89回	608人	落下中は無重力になる性質を利用し、無重力の状態で泡やビー玉がどのように位置変化するかをカメラで追った。また、真空ポンプを使用し、真空時に起きる現象について紹介した。
令和4年12月～令和5年2月	風船で大実験	114回	1,091人	柑橘系果物の皮に含まれるリモネンがゴムを溶かす性質を利用したゴム風船割りやゴム風船の伸び縮みで温度が変わるなどの実験を行った。
令和5年3月	ピタッと磁石で大実験	56回	486人	磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って鉄球を飛ばす実験などを行った。
令和4年5月 (ゴールデン ウイーク) 令和4年7・8月 (夏休み)	空気の力で大実験	42回	428人	空気には重さがあることを測定器で確かめた。また、大気圧を利用して、ボウリングの球を持ち上げる実験などを行った。

参加者数 5,650人



燃える科学の様子



風船で大実験の様子

## サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作的ワークショップを、約2ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催時間 ①11時30分～、②14時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 14人程度(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和4年 4・5月	磁石のひみつ	100回	386人	磁石をテーマに、磁石のさまざまな性質を確かめる実験を行った。また、ゴム磁石を使った工作を行った。
令和4年 6・7月	生き物たちの見る世界	105回	652人	夏の企画展のテーマである動物にちなみ、生き物たちの目にはこの世界がどのように見えているのか、実験を行った。また、魚の目と人の目ではどのように見え方が異なるかがわかる工作を行った。
令和4年 8~10月	山のふしぎ	164回	1,067人	山の日にちなみ、山はどのようにできるのか、また、山にお菓子を持っていくとなぜ膨らむのか、などについて、実験を行った。さらに山でも方角がわかる方位磁石の工作を行った。
令和4年 11・12月	コマで実験しよう!	106回	525人	コマをテーマに、コマはどうして回り続けるのか、遠心力や慣性の法則、ジャイロ効果などの実験を行った。また、回ると色が変わる不思議なコマの製作を行った。
令和5年 1・2月	けいたいカイロをつくろう♪ "発熱の秘密"	90回	464人	携帯カイロはどうして温かくなるのか、実際のカイロの中身をルーペや磁石などで調べる実験を行った。また、簡易的な携帯カイロを作り、温度計で温度がどのように上がっていくのかを調べた。
令和5年 3月	伸びたり縮んだり!ゴムのひみつ	56回	356人	ゴムをテーマに、ゴムの持つさまざまな役立つ性質を確かめる実験を行った。また、ゴム動力をを使った工作を行った。
令和4年 4・5月(ゴールデンウィーク)	わくわく実験教室「一家に1枚 ガラス～人類と歩んできた万能材料～」	3回	57人	ガラスをテーマに、油と耐熱ガラスを使った実験やビー玉を使った顕微鏡の工作を行った。
令和4年 4・5月(ゴールデンウィーク)	わくわく実験教室「科学でマジック」	3回	52人	「科学でマジック」をテーマに、偏光板の性質を利用した壁を通り抜けることができる不思議な箱を作った。
令和4年 7月(夏休み)	自由研究ミニ教室「こおり方を調べよう」	3回	52人	「こおり方を調べよう」をテーマに、自由研究の取り組み方について研究例を交えながら紹介した。

参加者数 3,611人



生き物たちの見る世界の様子



コマで実験しよう!の様子



けいしたいカイロをつくろう♪  
"発熱の秘密"の様子

### 3D 天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

☆定 員 12人程度(新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、定員を約半数にして実施。)

参加者数 1,714人



3D 天文シミュレーションの様子

### 3 展望ロビー利活用事業

#### (1) パブリックビューイング

##### パブリックビューイング「名譽館長による皆既月食ライブ配信」

令和4年11月8日の皆既月食の国立天文台ライブ配信に、当館名譽館長である渡部潤一先生が出演されたため、このライブ配信のパブリックビューイングを開催した。

☆開催日時 令和4年11月8日(火)18時～20時

☆協 力 国立天文台

☆参加者数 97人



パブリックビューイング「名譽館長による  
皆既月食ライブ配信」の様子

#### (2) 展望ロビーパネル展

##### 特別展示「松本零士先生とふれあい科学館 写真で振り返る足跡」

松本零士先生が2001年10月から2021年6月まで、名譽館長として当館で活動された様子を約30点の写真で紹介する特別展を開催した。

☆開催期間 令和5年2月25日(土)～3月31日(金)



特別展示「松本零士先生とふれあい科学館  
写真で振り返る足跡」の様子

#### (3) Nゲージ鉄道ジオラマ

##### Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

##### <鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～(約20分間)

☆見学者数 3,932人



鉄道ジオラマショーの様子

#### <簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時（ショー開催時間以外）

#### <運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

☆料 金 200 円（約 5 分間）

☆運転者数 2,955 人

#### <ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

#### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

#### <トレインガイド>

☆展示時間 隨時

### (4) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

## ハロウィンディスプレイ Halloween Night in SPACEPARK 2022

☆開催日時 令和 4 年 9 月 30 日（金）～ 10 月 31 日（月） 日没～ 20 時



ハロウィンイルミネーションの様子

### クリスマスイルミネーション Christmas Dreams in SPACEPARK 2022

☆開催日時 令和4年12月2日(金)～25日(日) 日没～20時



クリスマスイルミネーションの様子

### ウインターライトミネーション

☆開催日時 令和4年12月26日(月)～令和5年1月12日(木) 日没～20時



ウинтерライトミネーションの様子

## 4 展示ゾーン利活用事業

### (1) 企画展

#### スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」

デジタルコンテンツで、どうぶつとジャンプ力やかけっこ競走などで勝負しながら、自分とどうぶつをくらべたり、どうぶつについて知ったり、生態の不思議を実感したり、どうぶつの多様性がわかる企画展を開催した。

☆開催日時 令和4年7月16日(土)～8月15日(月) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 9,725人

☆展示内容 しゃべるたぬき(タヌキチくん)、どうぶつとジャンプ力くらべ、どうぶつとかけっこ、ゴリラとたたかいごっこ、どうぶつとくらべっこ、どうぶつデジタルずかん、どうぶつ妄想トーク、どうぶつと写真撮影、どうぶつのおもさて ほか



どうぶつとかけっここの様子



展示に係るクイズシートに挑む来館者の様子

#### <夏休み親子講座「私たちと野生動物～野生生物共生センターのお仕事～」>

☆講師 野生生物共生センター職員

・稻見健司氏(獣医師)※7月24日

・菅野勝洋氏(副主査)※7月24日

・佐久間朝弓氏(野生動物管理員)※8月7日

・増子博氏(技師)※8月7日

☆開催日時 令和4年7月24日(日)・8月7日(日)14時～15時

☆開催場所 展示ゾーン 実験工房(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 33人

☆内容 獣医師や野生動物管理員のお仕事を、実際の獣医師さんや野生動物管理員さんが現場のお話や実演・体験で紹介する講座を開催した。



夏休み親子講座「私たちと野生動物  
～野生生物共生センターのお仕事～」の様子

#### <どうぶつふれあいコーナー>

- ☆開催日時 令和4年7月29日(金) 10時～14時40分
- ☆開催場所 展示ゾーン 実験工房(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 195人
- ☆協力 郡山石筵ふれあい牧場
- ☆内容 生きているうさぎと直接ふれあえる体験コーナーを開催した。



どうぶつふれあいコーナーの様子

#### はやぶさ2帰還カプセル等特別展示 in 郡山

2020年12月に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルや小惑星「リュウグウ」から採取した試料等を展示する企画展を開催した。また、会場では展示品の生解説や、福島県内の「はやぶさ2」関連企業・大学による紹介も行った。

- ☆開催日時 令和4年8月19日(金)～23日(火) 10時～17時20分
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 1,473人
- ☆協力 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、会津大学ARC-Space、日本工機株式会社、NEC プラットフォームズ株式会社、東成イービー東北株式会社、株式会社石川製作所、株式会社タマテック、藤倉航装株式会社、古河電池株式会社、日本宇宙少年団こおりやま分団

☆展示内容 小惑星「リュウグウ」の試料をはじめ、試料を納めたカプセルやヒートシールドなど、帰還カプセルに関する展示物。



開催中の様子



開催中の様子

#### <はやぶさ2帰還カプセル展示記念講演会「もうひとつの“はやぶさ”ミッション」>

☆講 師 上坂 浩光 氏(「HAYABUSA2 ~ REBORN」制作監督)

☆開催日時 令和4年7月23日(土) 16時～17時50分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加人数 52人

☆内 容 映像作家の立場から、ミッションの意義や応援した人たちの想い、そして3つのHAYABUSA フルドーム作品を作り続けたエネルギーの源泉などをお話をいただいた。また、イベント前半には、ドーム映像番組「HAYABUSA2 ~ REBORN」を投映した。



開催中の様子



開催中の様子

#### <はやぶさ2帰還カプセル展示記念講演会「はやぶさ / はやぶさ2と福島 / 会津大学」>

☆講 師 出村 裕英 氏(会津大学)

☆開催日時 令和4年8月20日(土) 16時～17時30分

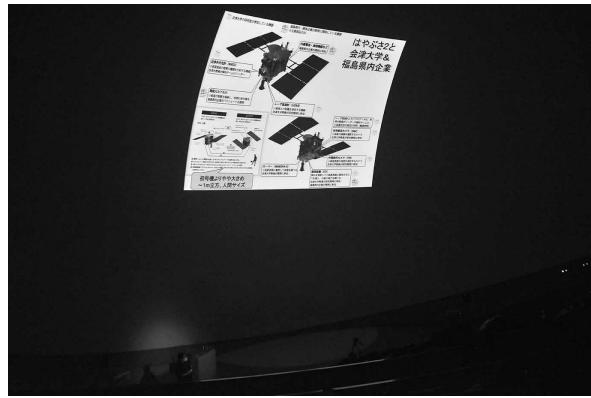
☆開催場所 宇宙劇場

☆参加人数 83人

☆内 容 福島県内の企業や大学とも深い関わりのある小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ2」について、はやぶさシリーズの技術的な挑戦や科学成果、その背景などと併せて福島の貢献などを紹介いただいた。



開催中の様子



開催中の様子

### <夏のドーム映像番組「HAYABUSA2 ~ REBORN」>

☆開催日時 令和4年8月19日(金)～23日(火) 18時20分～19時5分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加人数 69人

☆内 容 小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星「リュウグウ」でのミッションから地球帰還までを描いたドーム映像番組を投映した。また、「はやぶさ2」への理解を深めるため、23階ホワイエ前には HAYABUSA 2 1/2 模型を設置した。



HAYABUSA2 ~ REBORN



HAYABUSA 2 1/2 模型

### スペースパーク企画展「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」

二つの方向から見たときに全く違う形に見える作品を展示し、錯覚・錯視が引き起こす驚きを楽しむ企画展を開催した。

☆開催日時 令和4年12月3日(土)～令和5年1月9日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 一般来館者、展示ゾーン入館者

☆参加者数 6,978人

☆展示内容 反対方向から見ると形が変わる「変身立体」、鏡に映すと一部が消えてしまう「透身立体」、ライトを当てると異なるシルエットが見える「多シルエット立体」、錯覚を利用した「トリック迷路」など。



変身立体



トリック迷路

### 鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会、元鉄道ボランティアなどの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 令和4年10月8日(土)～10日(月・祝)

10時～17時(※10日は16時まで)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,863人

☆内容 (1) 鉄道ジオラマショー

土・日・祝に1日2回行っているジオラマショーを、期間中は1日3回に増便して行った。

(2) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(3) 鉄道関連写真・資料展示

鉄道ファンのご協力により、貴重な鉄道関連資料や写真を展示了。

(4) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(5) 手回しトロッコ「てトロ」体験

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

(6) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(7) 顔出しパネルコーナー

大きな新幹線の写真をバックに記念写真を撮ることが出来るコーナーを設置した。

(8) 工作コーナー

鉄道の絵が変わる「くるりんパズル」を作った。



Nゲージ鉄道車両操作体験の様子



プラレールコーナーの様子

### スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校と連携して、来館者にロボットと親しんでもらえる事業を開催した。

#### <ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校で製作したロボットをはじめとするロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 令和5年3月25日(土)・26日(日) 10時～16時40分

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,078人

#### <工作ワークショップ>

福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 令和5年3月26日(日) 14時～16時

☆開催場所 展示ゾーン実験工房(20階)

☆対象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 10人



ロボット展示・操作体験の様子



ワークショップの様子

## (2) パソコン工房の活用

### デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約 50 分間)

☆開催時間 日曜日 13 時 30 分～（イベント開催日は除く。）

☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房（20 階）

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 8 人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 4 年度は定員を半数にして実施）

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和4年 4月	キーホルダー作り	4回	41 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「キーホルダー」を製作した。
令和4年 5月	マグネット作り	4回	41 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「マグネット」を製作した。
令和4年 6月	ペーパーバッグ作り	4回	30 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「ペーパーバッグ」を製作した。
令和4年 7・8月	うちわ作り	3回	36 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「うちわ」を製作した。
令和4年 9月	えんぴつ作り	4回	49 人	イラストや文字を入れた、オリジナルの「えんぴつ」を製作した。
令和4年 10月	シール作り	3回	38 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「シール」を製作した。
令和4年 11月	カレンダー作り	4回	36 人	イラスト等を使用して、オリジナルの「カレンダー」を製作した。
令和5年 1月	ポケットティッシュボックス作り	3回	29 人	イラスト等を使用して、オリジナルの「ティッシュボックス」を製作した。

令和5年 2月	ロボットプログラミング	4回	36人	プログラミングで動くロボットを使用したゲームに挑戦していただいた。
令和5年 3月	メッセージカード作り	3回	29人	自分の顔写真やイラストを使用して、オリジナルの「メッセージカード」を作成した。

参加者数 365 人

### (3) 学校長期休業期間中の特別事業

#### サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ①ゴールデンウイーク期間: 令和4年4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)

10時～17時 ※5月2日(月)を除く

②夏季期間: 令和4年7月16日(土)～18日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ①ゴールデンウイーク期間: 2,302人

②夏季期間: 1,622人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立あさか開成高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、福島県立会津学鳳高等学校、日本大学東北高等学校、郡山女子大学附属高等学校、福島工業高等専門学校、福島大学、国際情報工科自動車大学校、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会員、ムシテックワールド、福島県環境創造センター、新福島芸能俱楽部、折紙造形・四季折々、折紙俱楽部、福島県ハイテクプラザ、スペースパークボランティアの会

内 容 <ゴールデンウイーク>

簡単手作りモーター、飛べ飛べこいのぼり、あつまれ！ハイテクプラザ、世界で1つだけのバスボムを作ろう！、光るスライム、風車、プラ板でキーホルダーブルブ、デザインピンチなど

<夏期>

光で固めて作るストラップ、「3Dプリンター」ってなに？、化学ができる不思議な体験、手作り簡単万華鏡！、たたいてにぎってワクワクダイラタンシー教室、動物折り紙教室など



安積高等学校の様子



福島工業高等専門学校の様子

### 夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 令和4年7月20日(水)～8月24日(水) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,710人

☆内容 ロケットうさぎ、UVちょうちょう、のぼりざる、コケコッココップ、風船ロケットの工作メニューを数日ごとに替えて行った。

### (4) 団体利用向け科学教室

#### サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,424人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッココップ等25種類）

#### サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

#### サイエンススクールの、3つの特徴

① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー

② 科学館だからこそできるダイナミックな実験

③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室  
☆対象 小学生  
☆参加者数 118人  
☆内容 1・2年 ドレミの音で大実験（20分） 風船で大実験（20分）  
3年 磁石の性質（30分）  
4年 空気（水）の性質（30分）  
5年 振り子の運動（30分）  
6年 燃焼のしくみ（30分）

### 3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウイーク及び学校の長期休業期間等を除く。）  
☆開催場所 多目的研修室  
☆対象 小中高校等の学校  
☆参加者数 111人  
☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

### （5）小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 令和4年10月29日（土）・30日（日） 11時～16時  
☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室（20階）  
☆対象 展示ゾーン入館者  
☆参加者数 158人  
☆内容 「〈太陽光発電と水素〉、〈キラキラのスーパーボールを作ってみよう〉、〈かたい砂が水のようになる「液状化」の実験〉、〈ぬり絵でQRコードをつくってみよう！〉、〈紙コップ弓矢〉、〈暗くなると光るライト〉、〈ロケットうさぎ（科学館）〉」の実験・工作を行った。



小中学生・高校生のための  
科学技術へのいざない開催の様子

## 5 教育普及活動

### (1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 令和4年5月～令和5年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 55回

### (2) 講師派遣（アウトリーチ事業（出前講座））

#### 星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和4年6月11日(土) 19時～20時30分	赤木地域公民 館	赤木地域公民 館	45人	悪天候のため、星図の 使い方、望遠鏡で天体 写真の観察など
第2回	令和4年7月10日(日) 19時～20時30分	富田東地域公 民館	富田東地域公 民館	46人	月の観察、星の見方の 紹介など
第3回	令和4年7月30日(土) 19時～20時30分	桑野地域公民 館	桑野地域公民 館	53人	アーティラス・ベガの 観察、星の見方の紹介 など
第4回	令和4年8月7日(日) 19時～20時30分	大槻東地域公 民館	大槻東地域公 民館	31人	月・土星の観察、星の 見方の紹介など
第5回	令和4年10月8日(土) 18時～19時30分	富久山公民館	富久山公民館	55人	月・木星・土星の観察、 星の見方の紹介など
第6回	令和4年10月15日(土) 18時～19時30分	三穂田公民館	三穂田公民館	33人	木星・土星の観察、星 の見方の紹介など
第7回	令和4年11月6日(日) 17時30分～19時	高瀬地域公 民館	高瀬地域公 民館	39人	月・木星・土星の観察、 星の見方の紹介など
第8回	令和4年11月19日(土) 17時～18時30分	清水台地域 公民館	清水台地域 公民館	24人	木星・土星の観察、星 の見方の紹介など

参加者総数 326人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和4年6月10日(金) 13時20分～14時40分	尚志緑ヶ丘 幼稚園	72人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。
第2回	令和4年7月6日(水) 14時45分～15時45分	芳山小学校 (科学クラブ)	16人	「カラーキャンドル」を製作した。 材料の性質を学んだ。
第3回	令和4年7月13日(水) 14時30分～15時	御代田保育所	22人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。

参加者総数 110人



スライム製作の様子



カラーキャンドル製作の様子

### こどもまつり

第57回郡山市こどもまつりにおいて、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する予定であったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。

### 高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指

し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山商業高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和4年6月21日(火)	多目的研修室	オリエンテーション	5人
令和4年6月28日(火)	多目的研修室	オリエンテーション	11人
令和4年7月5日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	プラネタリウムのしくみ	5人
令和4年7月6日(水)	多目的研修室	オリエンテーション	6人
令和4年7月12日(火)	多目的研修室	望遠鏡のしくみ	12人
令和4年7月14日(木)	宇宙劇場	電波望遠鏡のガイダンス	6人
令和4年9月13日(火)	多目的研修室	望遠鏡のしくみ	4人
令和4年9月27日(火)	多目的研修室、宇宙劇場	星景写真・天体写真の撮り方	9人
令和4年10月18日(火)	多目的研修室	11月8日の皆既月食	4人
令和4年10月25日(火)	多目的研修室	宇宙探査の歴史と将来	9人
令和4年11月29日(火)	宇宙劇場	電波望遠鏡とブラックホール	4人
令和4年11月30日(水)	実験工房、2階ペデストリアンデッキ	電視観望会	9人
令和4年12月13日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	8人

参加者総数 92人

#### ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

#### <ムシテック祭り>

☆派遣日時 令和4年11月5日(土) 9時30分～16時

☆派遣場所 ふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）

#### その他講師派遣

#### <郡山市男女共同参画フェスティバル 2022 スペースパーク科学体験コーナー>

☆派遣日時 令和4年6月26日(日) 10時30分～11時30分

☆派遣場所 郡山市男女共同参画センター（さんかくプラザ）

**<コミュタン福島ナイトミュージアムの星空観賞会>**

☆派遣日時 令和4年7月29日(金) 19時15分～20時

☆派遣場所 福島県環境創造センター

**<平成記念郡山こどものもり公園「星空の観察会」>**

☆派遣日時 令和4年7月31日(日) 19時～21時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

**<コミュタン福島ナイトミュージアムの星空観賞会>**

☆派遣日時 令和4年8月5日(金) 19時15分～20時

☆派遣場所 福島県環境創造センター

**<須賀川市民交流センター「tte スクールファミリー「夏空プラネタリウム」講座>**

☆派遣日時 令和4年8月7日(日) 10時～11時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

**<郡山石筵ふれあい牧場「第4回親子流星観察体験」>**

☆派遣日時 令和4年8月27日(土) 19時～20時30分

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

**<郡山わくわくフェスタ>**

☆派遣日時 令和4年9月3日(土) 10時～16時

☆派遣場所 中町ゆめ通り

**<大安場史跡公園提案事業「古墳でお月見」>**

☆派遣日時 令和4年9月10日(土) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

**<コミュタン福島ナイトミュージアムセカンドチャンスの星空観賞会>**

☆派遣日時 令和4年9月30日(金) 19時15分～20時

☆派遣場所 福島県環境創造センター

**<郡山石筵ふれあい牧場「親子水口ケット製作打ち上げ体験」>**

☆派遣日時 令和4年10月29日(土) 10時～12時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

**<カルチャーパークドリームランド感謝祭 郡山市観光交流公社事業「星の宅配便」>**

☆派遣日時 令和4年11月6日(日) 15時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

### <青少年教育講座>

☆派遣日時 令和4年11月26日(土) 17時30分～19時

☆派遣場所 須賀川市大東公民館

### <須賀川市民交流センター「tte スクール「心を整える講座プラネタリウム」>

☆派遣日時 令和4年12月26日(月) 18時～19時30分

☆派遣場所 須賀川市民交流センター

### <近代プラネタリウム誕生100年企画「全国★プラネタリアンライブ解説」>

☆派遣日時 令和5年3月19日(日) 10時30分～15時30分

☆派遣場所 日立シビックセンター

### <平成記念郡山こどものもり公園「日時計の工作&天文学講座」>

☆派遣日時 令和5年3月19日(日) 10時～12時

☆派遣場所 平成記念郡山こどものもり公園

### (3) 職場体験としての機会提供

#### 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和4年9月7日(水)～14日(水)

※12日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 5人

　　郡山女子大学短期大学部地域創成学科 : 3人

　　国立大学法人福島大学理工学群共生システム理工学類 : 1人

　　都留文科大学文学部国文学科 : 1人

実習日	実習内容
令和4年9月7日(水)	開講式、実習説明、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場機器説明
8日(木)	展示実習、宇宙劇場番組見学、館内対応
9日(金)	展示実習、宇宙劇場番組見学
10日(土)	展示実習、展示実習発表準備、同発表、
11日(日)	館内対応、番組見学、宇宙劇場実習準備
12日(月)	休館日

13日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
14日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

#### インターンシップ（就業体験）受入れ

##### <福島大学インターンシップ>

大学の正規授業であるインターンシップ（就業体験）の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行った。

☆開催期間 令和4年8月10日(水)～21日(日)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 3人

行政政策学類：1人

経済経営学類：1人

食農学類：1人

#### (4) クラブ活動

##### 天文科学クラブ

1年を通して星空と宇宙の楽しみ方や科学の不思議を体験することができるクラブを開催した。

☆開催回数 Aクラス8回、Bクラス8回（令和4年6月～令和5年2月）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、ミューカルがくと館

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 40人（Aクラス：20人、Bクラス：20人）

メニュー	クラス	開催日	参加者数
望遠鏡を作つてみよう	A	令和4年6月11日(土)	20人
	B	令和4年6月25日(土)	18人

小さな世界をのぞいてみよう	A	令和4年7月2日(土)	17人
	B	令和4年7月9日(土)	18人
月のひみつ	A	令和4年8月27日(土)	16人
	B	令和4年8月28日(日)	16人
空の科学	A	令和4年9月10日(土)	17人
	B	令和4年9月17日(土)	16人
星空を見よう!～星空観察会～	A・B	令和4年10月2日(日)	82人
岩石探検	A	令和4年11月12日(土)	14人
	B	令和4年11月26日(土)	16人
宇宙飛行士になるには?	A	令和5年1月14日(土)	17人
	B	令和5年1月28日(土)	18人
あつたかい科学	A	令和5年2月11日(土)	14人
	B	令和5年2月25日(土)	19人

**延べ参加者数 318人**



月のひみつの様子



岩石探検の様子

## (5) 講座・講演会

### 星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

### 第39回星の講演会

#### <人類が初めて見たブラックホールの姿>

☆講 師 本間 希樹 氏 (国立天文台)

☆開催日時 令和4年12月17日(土) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 125人

☆内 容 人類初のブラックホール撮影プロジェクトの日本の代表を務める本間先生から、ブラックホールの撮影方法や得られた写真の意義、今後の展望を紹介いただいた。



開催中の様子



開催中の様子

### プラネタリウム 100 周年記念特別講演会「時・暦・プラネタリウム」

プラネタリウム 100 周年にちなみ、プラネタリウムを通した天文に関する興味関心を高めることのできる講演会を開催した。

☆講 師 井上 毅 氏（明石市立天文科学館 館長）

☆開催日時 令和5年1月22日（日） 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 99人

☆内 容 時・暦・プラネタリウムという、人間が星を見て生み出した活動の歴史を紹介いただいた。



開催中の様子

### 星空案内人資格認定制度（星のソムリエ<sup>®</sup>）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 令和4年4月～令和5年3月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 8回

☆受講者総数 70人

#### <星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日時 令和5年1月29日(日) 15時～17時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人1人、星空案内人(準案内人)11人

☆内容 資格認定証授与および特別講座

特別講座 講師：柴田 晋平氏(星空案内人資格認定制度運営機構長)

#### <星のソムリエシンポジウム関連企画 特別講演会「“ほんと”の夜空がある福島」>

全国の星空案内人が集まる星のソムリエシンポジウムの開催に合わせて福島県の星空や天文学との関わりを紹介する講演会を開催した。

☆開催日時 令和5年3月4日(土) 16時30分～17時40分

☆開催場所 宇宙劇場

☆講師 渡部潤一氏(名誉館長・国立天文台出席教授)

☆参加者数 192人

☆内容 福島県出身の天文学者で当館名誉館長の渡部潤一先生にお越しいただき、福島の星空の美しさや天文学の歴史を通して星空を見上げる大切さをお話いただいた。



特別講演会の様子

#### <第15回星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム>

全国の星空案内人(星のソムリエ®)やその養成講座を実施している関係者が集い、情報交換を行うシンポジウムを開催した。

☆開催期間 令和5年3月5日(日)・6日(月)

☆開催場所 多目的研修室、オンライン配信

☆主催 星空案内人資格認定制度運営機構

☆共催 郡山市ふれあい科学館、株式会社ビクセン

☆後援 郡山市

☆協賛 合同会社プラネタリウムワークス、展示ブース協賛 Crescent moon

☆参加者数 127人

☆内 容 事例発表、招待講演、ポスター・グッズ展示、観望会、プラネタリウム特別投映



事例発表の様子



ポスター・グッズ展示の様子



観望会の様子

### 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に2期開催した。

#### <日本の宇宙探査機>

☆開催回数 4回（令和4年4月～5月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開 催 日 時	参加者数
太陽系の姿を知る	令和4年4月13日(水)19時～21時	14人
日本の探査機の歩み	令和4年4月27日(水)19時～21時	14人
活躍する探査機1 太陽・惑星を調べた探査機たち	令和4年5月11日(水)19時～21時	14人
活躍する探査機2 月・小天体をめぐる探査機たち	令和4年5月25日(水)19時～21時	12人

延べ参加者数 54人

#### <『星のソムリエ®』になりませんか?>

☆開催回数 8回（令和4年6月～令和5年1月）

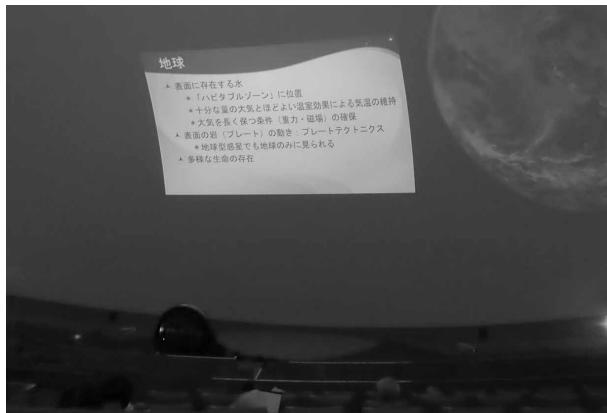
☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開 催 日 時	参加者数
さあ、はじめよう	令和4年6月22日(水)19時～21時	15人
星座を見つけよう	令和4年7月13日(水)19時～21時	12人
望遠鏡のしくみ	令和4年8月31日(水)19時～21時	13人
望遠鏡を使ってみよう	令和4年9月21日(水)19時～21時	12人

宇宙はどんな世界?	令和4年10月26日(水)19時~21時	13人
星空の文化に親しむ	令和4年11月16日(水)19時~21時	10人
星空案内の実際	令和5年1月11日(水)19時~21時	11人
認定証授与式および特別講座	令和5年1月29日(日)15時~17時30分	21人

**延べ参加者数 107人**



日本の宇宙探査機



星のソムリエ®になりませんか？

### 科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

#### <パイプロボコン>

☆講 師 岡本 正行 氏 (株式会社 MANOI 企画／ロボットゆうえんち)

☆開催期間 令和4年4月2日(土)・3日(日)

8月27日(土)・28日(日)

令和5年3月28日(火)・29日(水)

☆開催場所 展望ロビー

☆対 象 一般来館者

☆内 容 「メカモグラ」というパイプの中を移動できるロボットを使用したタイムアタック大会や、ロボットサッカー操作体験等ができる催しを開催した。



「パイプロボコン」の様子

### <地質の日記念 野外講座「郡山で化石をさがそう」>

- ☆講 師 猪瀬 弘瑛 氏（福島県立博物館 主任学芸員）  
吉田 純輝 氏（福島県立博物館 学芸員）  
☆開催日時 令和4年5月29日（日）10時30分～16時  
☆開催場所 郡山市河内ふれあいセンター、林道高広線  
☆対 象 小学3年生以上（小学生は保護者同伴）  
☆参加者数 36名  
☆内 容 福島県立博物館と連携し、郡山市内の露頭からの化石採集や、そのクリーニング（化石を岩石から取り出す作業）を行う講座を開催した。



地質の日記念 野外講座  
「郡山で化石をさがそう」の様子

### <福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

#### 「バイオ花火、ロケットを楽しんじゃお～！」

- ☆講 師 杉森 大助 氏（福島大学 共生システム理工学類 教授）  
☆開催日時 令和4年9月25日（日） 13時～15時  
☆開催場所 多目的研修室  
☆対 象 小学生（小学3年生以下は保護者同伴）  
☆参加者数 21名  
☆内 容 ガソリンの代替燃料として期待されているバイオエタノールを使った実験を行ったほか、お酒やパンの発酵の時に活躍する酵母の細胞のなかにある酵素を使って花火やロケットを作る実験を行った。



「バイオ花火、ロケットを楽しんじゃお～!」の様子

#### <曾田香料株式会社との連携事業>

#### 「香りの魅力 - オリジナル香水を作つてみよう - 」

☆講 師 鈴木 文香 氏（曾田香料株式会社調香師）

☆開催日時 令和5年2月18日(土) 13時30分～16時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学5年生以上（小学生は保護者同伴）

☆参加者数 20名

☆内 容 「香り」「香水」に関する講座を開催した。



「香りの魅力 - オリジナル香水を作つてみよう - 」の様子

#### <日本大学工学部との連携事業>

#### 「電波で見る宇宙！」

☆講 師 高野 秀路 氏（日本大学工学部教授）

☆開催日時 令和5年2月19日(日) 14時～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生以上（小学3年生以下は保護者同伴）

☆参加者数 20名

☆内 容 電波を使って観測する宇宙の姿に関する講座を開催した。



「電波で見る宇宙!」の様子

### 連携事業

#### 講座「天文学から SDGs を知ろう！」

#### 親子向け「発見！私たちの生活と天文学」

☆講 師 縣秀彦氏（国立天文台天文情報センター准教授・普及室長）

☆開催日時 令和4年11月20日(日) 13時30分～14時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生と保護者

☆参加者数 10名

☆内 容 天文学が生活の中でどのような関わりがあるのかを見ていった。現在のさまざまな天文学の取り組みを振り返りながら、紹介いただいた。



「発見！私たちの生活と天文学」の様子

#### 一般向け「天文学とSDGs」

☆講 師 縣秀彦氏（国立天文台天文情報センター准教授・普及室長）

☆開催日時 令和4年11月20日(日) 16時～17時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 一般（中学生以上）

☆参加者数 21名

☆内 容 世界の潮流を踏まえながら、天文学が社会に貢献できる内容や今後の展開について紹介いただいた。



「天文学とSDGs」の様子

### 海博士になろう講座

#### 測って謎解き <海の変化>

☆講 師 佐藤 佳奈子 氏（海洋研究開発機構 技術副主幹）

☆開催日時 令和4年8月27日(土) 14時～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学校3年生以上

☆参加者数 17名

☆内 容 海洋研究開発機構（JAMSTEC）と連携し、地球温暖化の海への影響など、温度を測る実験や研究を通して探る講座を実施した。



「測って謎解き <海の変化>」の様子

### 飼育して知る海の生き物

☆講 師 長井 裕季子 氏（海洋研究開発機構 技術スタッフ）

☆開催日時 令和4年10月15日(土) 13時～14時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学校3年生以上

☆参加者数 20名

☆内 容 海洋研究開発機構（JAMSTEC）と連携し、深海生物などの海の生き物の生態を紹介する講座を開催した。



「飼育して知る海の生き物」の様子

## (5) 観望会

### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対象 一般(当日自由参加)

開催日時	観望内容	参加者数
令和4年4月9日(土)18時30分～19時30分	月など	32人
令和4年5月7日(土)19時～20時	月など	10人
令和4年6月4日(土)19時30分～20時30分	月など	74人
令和4年7月9日(土)19時30分～20時30分	月など	悪天候のため中止
令和4年8月6日(土)19時～20時	月など	悪天候のため中止
令和4年9月3日(土)18時30分～19時30分	月・土星など	悪天候のため中止
令和4年10月1日(土)18時30分～19時30分	月・木星・土星など	100人
令和4年11月5日(土)17時30分～18時30分	月・木星・土星など	50人
令和5年3月25日(土)18時30分～19時30分	月・火星など	悪天候のため中止

参加者総数 266人



駅前観望会の様子

## 天体観望会

### <皆既月食観望会>

全国的に見られた皆既月食を観察する観望会を開催した。

☆開催日時 令和4年11月8日(火) 17時30分～20時30分

☆開催場所 ミューカルがくと館およびその周辺

☆参加者数 家族10組

☆内 容 双眼鏡や望遠鏡による月食の観察、月食についての解説



皆既月食観望会の様子

### <火星観望会>

火星の最接近に合わせて火星を観察する観望会を開催した。

☆開催日時 令和4年12月3日(土) 17時30分～20時

☆開催場所 平成記念郡山こどものもり公園

☆参加者数 105人

☆内 容 望遠鏡による惑星の観察



火星観望会の様子

## (7) 学習支援

### 天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 令和4年4月～令和5年3月

### 科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウイークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。

## 6 宇宙や科学に関する情報発信事業

### (1) 企画パネル展

#### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展示期間
星雲・星団の旅	令和4年4月2日(土)～5月29日(日)
ふくしま星・月の風景写真展	令和4年6月4日(土)～26日(日)
はやぶさ2のあゆみ	令和4年7月2日(土)～8月28日(日)
太陽系の仲間たち 前編	令和4年9月3日(土)～11月27日(日)
太陽系の仲間たち 後編	令和4年12月3日(土)～令和5年2月26日(日)
お誕生日の星座めぐり	令和5年3月4日(土)～31日(金)

#### 展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展示期間
スペースパーク サイエンストピック	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
小惑星探査機「はやぶさ2」衝突装置展示	令和4年4月1日(金)～令和5年2月28日(火)
企画パネル展「スペパ元素かるた周期表」	令和5年3月1日(水)～31日(金)

### (2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

#### <全国プラネタリウム大会 2022・郡山>

☆開催日 令和4年6月7日(火)

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 宇宙劇場

#### <令和4年度全国科学館連携協議会東北ブロック会議>

☆開催日 令和5年1月26日(木)

☆開催場所 スリーエム仙台市科学館

<第15回星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム>

☆開催日 令和5年3月5日(日)

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

## 7 作品募集

### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出されたこれまでのコンテスト作品の巡回展示を県内外で行い、広く普及活動を実施した。

#### <ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

##### 三鷹展

- ☆展示期間 令和4年4月1日(金)～3日(日)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第6回コンテスト選出写真40点

##### いわき展

- ☆展示期間 令和4年4月1日(金)～3日(日)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から特別賞以上選出作品38点

##### 石川展

- ☆展示期間 令和4年4月1日(金)～5月1日(日)
- ☆展示場所 いしかわ子ども交流センター(石川県金沢市)
- ☆主催共催 いしかわ子ども交流センター
- ☆内 容 第3回コンテスト選出写真から作品41点

##### 福島展

- ☆展示期間 令和4年5月1日(日)～21日(土)
- ☆展示場所 福島市写真美術館(福島市)
- ☆主催共催 福島市写真美術館
- ☆内 容 第6回コンテスト選出作品から、作品40点

##### 福島展

- ☆展示期間 令和4年7月16日(土)～8月21日(日)
- ☆展示場所 とうほう・みんなの文化センター(福島市)
- ☆主催共催 福島民報社
- ☆内 容 第4～6回コンテスト選出写真から特別賞以上選出作品17点

##### けんしん郡山文化センターアートギャラリー展

- ☆展示期間 ①令和4年8月2日(火)～9月30日(金)

②令和5年1月7日(土)～3月29日(水)

☆展示場所 けんしん郡山文化センター(郡山市)

☆主催共催 けんしん郡山文化センター

☆内 容 第4～6回コンテスト選出写真から特別賞以上選出作品16点

### 三鷹展

☆展示期間 令和5年2月10日(金)～3月31日(金)

☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)

☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース

☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品31点

### いわき展

☆展示期間 令和5年3月4日(土)～26日(日)

☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)

☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ

☆内 容 過去のコンテスト選出写真から浜通りで撮影された作品32点

## 8 出版

### (1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

### (2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

## 9 調査・研究

### (1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和4年6月6日(月)～8日(水)	全国プラネタリウム大会 2022・郡山(郡山市ふれあい科学館)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査および発表
令和5年2月6日(月)～8日(水)	全国プラネタリウム研修会 2022・伊丹(伊丹市立こども文化科学館)	プラネタリウム投映手法に関する調査
令和5年3月5日(日)・6日(月)	第15回星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム(郡山市ふれあい科学館)	星空案内人資格認定制度に関する情報収集および発表

### (2) 天文学術会議調査

最新の天文学や天文普及の手法に関する調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和5年2月8日(水)	明石市立天文科学館	プラネタリウムの運営手法等の調査
令和5年2月9日(木)	名古屋市科学館	プラネタリウムの運営手法等の調査

### (3) 天文最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、天文学や宇宙科学の研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、視察を行った

調査日	調査先	内容
令和5年1月18日(水) 3月23日(木)	名古屋市科学館	惑星探査データの可視化に関する、展示手法
令和5年1月23日(月) 3月15日(水)	国立天文台	惑星探査データの可視化に関する、展示手法

### (4) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調査日	調査先	内容
令和4年11月17日(木)	全国科学館連携協議会 2022年度第1回国内研修(オンライン)	日立シビックセンター科学館 オンライン視察
令和5年1月26日(木)	全国科学館連携協議会東北ブロック会議(スリーエム仙台市科学館)	科学工作的発表

令和5年2月2日(木)	全国科学館連携協議会 2022年度第2回国内研修(オンライン)	TEPIA 先端技術館 オンライン視察
令和5年2月 15 日(水) ・ 16 日(木)	全国科学博物館協議会総会・第30回研究発表大会(浜松科学館)	「誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える」についての事例発表

### (5) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業等が出展する展示会の視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和4年11月26日(土)	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2022(ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

### (6) 会津大学宇宙情報科学研究センターとの共同研究

月惑星探査で得られたデータの可視化による、科学館等における展示や教育現場で活用できるツール作成に向けた共同研究（萌芽研究）が採択された。

課題名：研究初学者および教育現場での活用に対応した、月惑星探査データにアクセスしやすい可視化ツールの検討

## 10 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共に「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催期間 令和4年5月～令和5年2月(毎月1回 日曜日 10時～12時)

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 8回

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、小野 一豊氏、横田 俊徳氏

☆内 容 喜多方人形、回転でアニメーションの動きを知ろう、ペットボトルでSDGs、望遠鏡を作ろう、天体の太陽の動き、身近なプラスチックの利用とリサイクルを知ろう、手回し発電機でSDGs、モビールを作ろう、電磁石、サイエンスフラワーで湿度を知ろうなど。



ゾートロープ製作の様子

#### 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動期間 令和4年4月～令和5年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 望遠鏡工作など

#### ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し、科学普及等の情報交換を行った。

#### <第1回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和4年5月27日(金) 13時15分～15時15分

☆開催場所 オンライン会議

#### <第2回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和4年9月14日(水) 13時15分～15時15分

☆開催場所 オンライン会議

#### <第3回 ワーキンググループ会議>

☆開催日時 令和5年3月8日(水) 13時30分～15時00分

☆開催場所 オンライン会議

### (2) ボランティア活動の推進

#### ボランティア活動の推進

##### <全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパーク

ボランティアの会(略称：S.P.V.)」が発足し、  
今年度19年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティアの会

##### <スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

##### 募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション及びボランティア研修
令和4年3月1日(火)～4月30日(土)	令和4年5月22日(日) 令和4年6月19日(日) 令和4年8月21日(日)

##### ※登録前オリエンテーション及びボランティア研修

スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的としたオリエンテーションと研修を開催した。

##### <登録状況>

##### ☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	8人	32人	36人	76人
令和4年度登録者	4人	2人	0人	6人
合 計	12人	34人	36人	82人

## ☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	39人	37人	40人	35人	0人	68人	5人	3人
令和4年度登録者	3人	3人	2人	3人	0人	5人	1人	0人
合 計	42人	40人	42人	38人	0人	73人	6人	3人

※職業未記入者2名

## ☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	0人	7人	6人	5人	11人	31人	19人	3人

### <ボランティア活動>

#### ○案内グループボランティア

☆活 動 時 間 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 196 時間

☆延べ活動人数 70 人

#### ○科学グループボランティア

☆活 動 時 間 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 838 時間

☆延べ活動人数 246 人

#### ○天文グループボランティア

☆活 動 時 間 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 114 時間

☆延べ活動人数 38 人

### <出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の

一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指すものであったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の参加を中止した。

### <自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 令和5年3月11日(土)・12日(日) 11時～15時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 紙芝居の実演、昔遊びなど

科学グループ 科学工作、折り紙

天文グループ 星座早見盤づくり

その他 各グループによる自由参加プログラム（発表・講座）



紙芝居の実演（案内グループ）



科学工作（科学グループ）



星座早見盤づくり（天文グループ）



自由参加プログラム

### <館事業サポート活動>

#### ○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催期間 令和4年5月3日(火・祝)・5日(木・祝)

☆メニュー ミニこいのぼり

## ○サイエンスフェスティバル（夏期）

科学グループ

☆開催日 令和4年7月18日（月・祝）

☆メニュー 夏の折り紙～海の生き物～

## ○夏休み工作コーナー（不定期）

科学グループ

☆開催日 不定期

☆メニュー ぶっとびロケット、かざぐるま

## ○鉄道フェスティバル

☆開催期間 令和4年10月8日（土）～10日（月・祝）

案内グループ

☆メニュー 紙芝居、鉄道ジオラマ解説、鉄道写真等展示・解説

科学グループ

☆メニュー ぶんぶんごま

## <科学館の事業における天体観望会等>

### ○駅前観望会

☆開催回数 5回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### ○星の宅配便

☆開催回数 8回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### ○天体観望会

☆開催回数 11回

☆開催場所 ミューカルがくと館、平成記念こどものもり公園、福島県環境創造センター、郡山石筵ふれあい牧場、大安場史跡公園、須賀川市大東公民館

☆内 容 市内外各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

## <科学グループ自主勉強会>

### ○第22回科学ボランティア勉強会

☆開催日 令和4年7月10日（日）

☆テーマ 「海の生き物：夏の折り紙」、「風の科学～風力発電の原理～」

☆開催場所 多目的研修室

## ○第23回科学ボランティア勉強会

☆開催日 令和4年11月13日(日)

☆テーマ 「干支を折る：うさぎバージョン」、「ゴムの科学」、クリスマスカード作成

☆開催場所 多目的研修室

## <令和4年度総会>

令和4年度活動報告、役員選出案、令和5年度活動計画案を審議し、また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行った。

今年度は、1人が受賞した。

☆開催日時 令和5年3月11日(土) 10時～11時

☆開催場所 多目的研修室

## <講演会>

☆開催日 令和5年3月12日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆講師 広井 勝(元郡山女子大学教授)

☆演題 「福島のきのこ」

## <S.P.V広報活動>

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.Vつうしん」を年3回発行した



S.P.Vつうしん第67号



S.P.Vつうしん第68号



S.P.Vつうしん第69号

### III 令和5年度広報・営業活動

#### 1 広報PR活動

##### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

###### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行した。

☆構 成 A4カラー2ページ

☆発行総数 375,000部

###### 学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

###### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数 245回

☆参照回数 263,567回

###### メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数 12回

☆配信先 767か所（令和5年3月時点）

###### テレビスポット

☆期間等 令和4年7月16日～8月14日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 夏休みドーム映像番組「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」  
「HAYABUSA2～REBORN」・スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」

☆期間等 令和4年12月3日～25日 福島テレビ、15秒スポット40本

☆内容 冬のドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」・  
スペースパーク企画展「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」

###### 新聞広告

☆掲載日等 令和5年1月3日 朝日新聞

☆内 容 「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」・スペースパーク企画  
展「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」

#### 広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

#### 看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペデストリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

#### SNS等による情報発信（#おうちでスペパ）

Facebookによるイベントや番組の情報発信を行った。また、InstagramやYouTubeによる実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスペパ」を行った。

☆更新回数：Facebook 106回、Instagram 204回、YouTube 2回、LINE 124回

### （2）広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内(95)
小学校	市内(54)、市外(161)
中学校	市内(28)
高等学校	市内(1)、市外(2)
公民館	市内(38)
関係機関・道の駅など	市内(51)、市外(60)、県外(21)

## 2 営業活動

民間事業者への営業訪問を実施した。

営業訪問先（資料配布含む）	
ホテル・商店・病院など	ホテル(22)、観光業者(4)、商店(8)、病院(4)、その他(23)

## IV 令和5年度事業活動計画

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

＜番組投映開始時刻＞ ※投映時間は約45分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		19時(※)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時(※)

※金曜日のみ投映

※夏期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

#### 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
星空の世界旅行	令和5年4月1日(土)～30日(日)
太陽の素顔	令和5年5月2日(火)～6月30日(金)
銀河系ツアー	令和5年7月1日(土)～8月31日(木)
プラネタリウム誕生100年	令和5年9月1日(金)～10月31日(火)
宇宙開発 新時代！	令和5年11月1日(水)～令和6年1月8日(月・祝)

#### キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により投映回は異なる。）

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	令和5年4月1日(土)～5月28日(日)
たなばたものがたり	令和5年6月3日(土)～7月31日(月)
宇宙ミステリーツアー2023	令和5年8月1日(火)～9月30日(土)
ながればしをみよう!	令和5年10月1日(日)～11月26日(日)
星のこどもたち	令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝)
タイトル未定	令和6年3月16日(土)～31日(日)

### 学習番組

#### ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

#### 投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	
日なたと日かけ(小学校中学年以上)	
月と星の動き(小学校中学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日(第1・2回目)
月と太陽(小学校高学年以上)	
地球と宇宙(中学生向け)	
宇宙のお話(中学生以上)	

### 幼児番組

#### ※学習番組枠で希望により投映(幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

#### 投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
なないろどうわとほしめぐり	令和5年4月～5月
なつのおほしさま	令和5年6月～7月
かぐやひめのおはなし	令和5年8月～11月
せかいのほしざら	令和5年12月～令和6年3月

### ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

**投映時間：4/1～5の第1・4回目、7/15～8/24（7/18を除く）の第1・3・5回目、7/15～8/20の土曜・日曜・祝日の第7回目、9/30～10/15の土曜・日曜・祝日の第1・4回目、10/21～11/26の土曜・日曜・祝日の第1回目、12/2～1/8の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目**

番組タイトル	投映期間
星になったチロ	令和5年4月1日(土)～5日(水)
ハナビリウム 花火って、なんであるの?	令和5年4月1日(土)～5日(水)
星になるまで music by ACIDMAN	令和5年7月15日(土)～8月20日(日)
発見！南極に恐竜がいた！	令和5年7月15日(土)～8月24日(木)
銀河鉄道999 星空はタイムマシーン	令和5年9月30日(土)～10月15日(日)
宇宙なんちゅら こてつくん プラネタリウム	令和5年10月21日(土)～11月26日(日)
キングペンギン -ペンギン親子の子育て日記-	令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝)

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。（字幕作成協力：要約筆記「要約筆記こおりやま」）

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。  
(年2回)

☆定 員 各220人以下

## いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空と流星の世界	令和5年5月18日(木)
今夜の星空と地上の星空 —プラネタリウム100周年—	令和5年8月31日(木)
今夜の星空と天界 2024	令和5年11月16日(木)

## ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
ほしざらどうぶつえん	令和5年4月20日(木)
みなみのしまのほしざら	令和5年5月25日(木)
ながればしをさがそう	令和5年8月25日(金)
たのしいうちゅうりょこう	令和5年10月19日(木)
クリスマスのほしざら	令和5年12月20日(水)・21日(木)

## イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 七夕やお月見・クリスマス等の年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

(年6回実施予定)

☆定 員 各220人以下

## 英語版プラネタリウム

英語における解説を加えたプラネタリウム投映を行い、市内・県内在住の外国人の観覧機会を提供する。

☆内 容 英語による星座解説と宇宙の話題の紹介。

(年2回実施予定)

☆定 員 各220人以下

## プラネタリウム100周年記念イベント

1923年にプラネタリウムが発明されて100周年を迎えるのにあたり、当館でも全国の

施設と連携した事業、館独自の特色ある事業を実施する。

#### <バックヤードツアー>

☆開催日時 令和5年10月7日（土）・8日（日）、11月4日（土）・5日（日）  
18時～19時30分

☆内 容 普段見ることのできないプラネタリウム機器の仕組みや舞台裏を紹介する。

#### <ドーム映像番組>

☆開催期間 令和5年10月21日～11月

☆内 容 プラネタリウムに着目した特色あるドーム映像番組を投映する。

☆定 員 各220人以下

### (2) 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

#### 星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催時間 平日（祝日・学校休業期間等を除く。） 15時30分～16時15分、土曜・日曜・祝日・学校休業期間等 17時～17時45分、毎週金曜日 19時～19時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

#### プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催する。

#### <名渡山遼プラネタリウムコンサート>

☆開催日時 令和5年7月2日（日） ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演奏者 名渡山 遼さん（ウクレレ奏者）

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

#### < mic-alone Planetarium LIVE ~星になれたら～>

☆開催日時 令和5年10月29日（土） ①15時～16時 ②17時～18時

☆演奏者 mic-alone

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人以下

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

### (2) 常設展示物の活用

#### 展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

#### <展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

#### <展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

#### <たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

#### <ロボット展示>

☆開催場所 展示ゾーン トリプルスピン前

#### <わくわくカウンター>

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催）

☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 科学工作

科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）

宇宙メダカの展示

### (3) 科学普及事業

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

#### サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使っ

た科学実験を実施する。(約 20 分間)

☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 野菜を使って実験しよう！、プルプル科学、びっくり！超低温の世界など

### サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。(約 20 分間)

☆開催時間 毎日 11 時 30 分～、14 時～

(サイエンスフェスティバル開催日等は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 伸びたり縮んだり！ゴムのひみつ、さまざまなプラスチック など

### 3D天文シミュレーション

3D 天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人程度

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

## 3 展望ロビー利活用事業

### (1) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機打ち上げ、日本人宇宙飛行士の報告会、天文現象等が、開館時間中に JAXA や国立天文台等によりライブ配信される際、その映像をリアルタイムで公開する。

### (2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

### (3) Nゲージ鉄道ジオラマ

#### Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が 9 mm の N ゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代

の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

**<鉄道ジオラマショー>**

☆開催時間 土・日・祝の① 11 時～ ② 15 時～ (約 20 分間)

**<簡易シミュレーター>**

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分 (ショー開催時間以外)

**<運転シミュレーター>**

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

☆料 金 200 円 (約 5 分間)

**<ウォールミュージアム>**

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

**<たんけん！鉄道ジオラマシート>**

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

**<トレインガイド>**

☆展示時間 随時

**(4) 展望ロビーイルミネーション**

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する。

**ハロウィン**

☆開催日時 令和 5 年 10 月 7 日 ( 土 ) ～ 10 月 31 日 ( 火 ) 日没～ 20 時

**クリスマス**

☆開催日時 令和 5 年 12 月 上旬～ 25 日 ( 月 ) 日没～ 20 時

**ウィンターイルミネーション**

☆開催日時 令和 5 年 12 月 26 日 ( 火 ) ～ 令和 6 年 1 月 上旬 日没～ 20 時

**4 展示ゾーン利活用事業**

**(1) 企画展**

## スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」

小学館の『くらべる図鑑』のページが大きなタペストリーやスクリーンになった展示や、動物とかけっこ競争する体験型展示などを通して、様々なものの大きさや高さ、スピード、言語の違いなどをくらべて学べる企画展を開催する。

☆開催日時 令和5年7月15日(土)～8月24日(木) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆展示内容 大きさをくらべる、高さをくらべる、「走る」をくらべる、太陽系惑星の公転の速さをくらべる、動物のあしあとをくらべる、街の中の恐竜を見つけようなど

## スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」

自分が塗り絵をした絵がスクリーン上を動きまわったり、人の体の動きに合わせて、美しいアート映像が様々な仕掛けで愉快に動いたり、音がなったりと「ワークショップ！」「見る！」「参加する！」など五感で楽しんでいただける企画展を開催する

☆開催日時 令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆展示内容 色違い判断テスト、おえかき×デジタルアート、違う色？同じカラー？、VRおえかき、ひかりのふしぎ！

## スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット製作等に取り組んでいる近隣の実業高等学校等と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。

☆開催日時 令和6年3月23日(土)・24日(日) 10時～16時40分(予定)

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 ロボット展示、操作体験

大会やコンテストに出場したロボット等の展示や操作体験を行う。

ロボット工作

簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

## 鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 令和5年10月7日(土)～9日(月・祝)

☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者  
☆内容 鉄道関連資料・写真展示、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

## (2) パソコン工房の活用

### デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

☆開催時間 日曜日 13時30分～  
※イベント開催日は除く。  
※令和5年5月～11月は、15時30分～開催

☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房（20階）

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 16人以下

☆内容 マグネット作り、うちわ作り、カレンダー作りなど

## (3) 学校長期休業期間中の特別事業

### サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催日時 ①ゴールデンウイーク期間：令和5年5月3日(水・祝)～7日(日)  
10時～17時 ※5月2日(月)を除く

②夏季期間：令和5年7月15日(土)～17日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員及び学生、スペースパークボランティアの会、市内外の他機関職員、科学館職員など

☆内容 ダイラタンシーの実験、電気を作ってためて使ってみよう、風車ほか

### 夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

☆開催期間 令和5年7月19日(水)～8月24日(木)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 偏光万華鏡、たまらんカップ、スライムほか

## (4) 団体利用向け科学教室

## **サイエンス教室（団体向け）**

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体等

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッコップ等25種類）

## **サイエンススクール（団体向け）**

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー

② 科学館だからこそできるダイナミックな実験

③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウイーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生

☆定員 50人程度

☆内容 1・2年 ドレミの音で大実験（20分）風船で大実験（20分）

3年 磁石の性質（30分）

4年 空気（水）の性質（30分）

5年 振り子の運動（30分）

6年 燃焼のしくみ（30分）

## **3D天文シミュレーション（団体向け）**

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウイーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小中高校等の学校

☆定員 1回30人程度

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

## (5) 雪氷楽会 おもしろ科学体験！雪と氷のふしき

日本雪氷学会・日本雪工学会と連携し、雪や氷の最新科学をテーマに、子どもから大人まで楽しめる簡単な科学実験・工作を行う。

☆開催日時 令和5年9月3日(日) 10時～15時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

## (6) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行う。

☆開催日時 令和5年12月2日(土)・3日(日) 11時～16時

☆開催場所 展示ゾーン多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

## 5 教育普及活動展

### (1) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議などを身近に触れることができる巡回展を行う。

☆開催期間 令和5年6月～令和6年2月(学校長期休業期間を除く。)

☆対象 市内小中学校

### (2) 講師派遣(アウトリーチ事業(出前講座))

#### 星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 令和5年4月～11月

☆開催回数 8回(予定)

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定員 各50人程度(各公民館で募集)

#### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日13時以降(各月申込み月日で調整する。2～3団体程度)

(ゴールデンウイーク、学校長期休業期間等を除く。)

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体(要相談)

☆内容 団体向け科学工作メニュー(25種類)の中から1つを選ぶ

## こどもまつり

郡山市から第58回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営について、郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力する。

☆開催日 令和5年5月5日(金・祝)

☆開催場所 カルチャーパーク

☆活動内容 太陽観察と太陽観察メガネ作り

※主催：こどもまつり実行委員会

## 高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催期間 令和5年6月～12月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

## ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

## 講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

## (3) 職場体験としての機会提供

### 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための実習を開催する。

☆開催期間 令和5年9月6日(水)～13日(水)

※11日(月)の休館日を除く7日間

### インターンシップ（就業体験）受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

## (4) クラブ活動

### 天文科学クラブ

天文分野は、宇宙劇場（プラネタリウム）や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を高め、科学分野は、実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 8回（令和4年6月～令和5年2月）

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 20人×2クラス（合計40人）

## (5) 講演会

### 星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

#### <第40回星の講演会 木星氷衛星探査計画 JUICE- ガニメデの地下には海がある？ ->

☆開催日時 令和5年12月3日（日） 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220人

### 星空案内人資格認定制度（星のソムリエ<sup>®</sup>）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ<sup>®</sup>」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、12回（通年）

☆対 象 一般（高校生以上）

### 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 12回（令和5年4月～令和6年3月）

☆対 象 一般（高校生以上）

☆募集人数 30人

### 科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

### <県内を中心とした研究機関との連携事業>

- ☆概要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 3回程度
- ☆連携先 福島大学、日本大学、曾田香料株式会社など

#### 連携事業

### <APRIM2023パブリックレクチャー>

- ☆概要 郡山で開催される国際会議「APRIM2023」組織委員会と連携して、一般向けの最先端の科学・天文学に関する講演会を開催する。
- ☆開催日時 令和5年8月12日(土) 13時～15時30分

### <連携講座「標本をつくって知る、身近な虫たち」>

- ☆概要 国立環境研究所福島地域協働研究拠点と連携して、昆虫の樹脂標本をつくることで、身近な虫たちの生態などを知る講座を開催する。
- ☆開催日時 令和5年7月1日(土) 13時30分から15時

## (6) 観望会

#### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆対象 一般（当日自由参加）

#### 天体観望会

### <太陽観察会>

- 太陽を観察する観望会を開催する。
- ☆開催日時 令和5年10月22日(日) 9時45分～11時45分
- ☆開催場所 ミューカルがくと館
- ☆内容 日食メガネや望遠鏡による太陽の観察

## (7) 学習支援

#### 天体望遠鏡貸出

- 市内地域の指導的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。
- ☆実施期間 令和5年4月～令和6年3月

#### 科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループに、ゴールデンウイークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートいただく。

## 6 宇宙や科学に関する情報発信事業

### (1) 企画パネル展

#### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催する。

テーマ	展示期間
お誕生日の星座めぐり	令和5年4月1日(土)～5月28日(日)
月のひみつ	令和5年6月3日(土)～8月27日(日)
プラネタリウム 100 周年記念 プラネタリウムのあゆみ	令和5年9月2日(土)～11月26日(日)
宇宙の美しい天体たち	令和5年12月2日(土)～令和6年1月8日(月・祝)
第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和6年3月16日(土)～31日(日)

#### 展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

### (2) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

## 7 作品募集

#### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

#### <第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト>

☆募集締切 令和5年11月5日(日)

☆展示期間 令和6年3月(予定)

☆審査員 鈴木 一雄氏(自然写真家)、渡部 潤一氏(天文学者)

☆展示場所 23階ホワイエ

#### <「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

## 8 出版

### (1) 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

### (2) 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開する。

## 9 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

## 10 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共に「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和5年5月～令和6年2月 毎月1回日曜日(年10回) 10時～12時

#### 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣  
分団活動の発表の場の提供等

#### ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

#### 日本宇宙少年団連携イベント

開館当初から協力関係にある日本宇宙少年団と連携し、NHK Eテレで放送中の「宇

宙なんぢやらこてつくん」を使った展示ゾーンの装飾や宇宙劇場でのドーム映像番組の投映を行う。

☆開催期間 令和5年4月29日(土)～5月7日(日)

## (2) ボランティア活動の推進

### <スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

#### —活動開始までの流れ—

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

### <スペースパークボランティアの会活動計画>

#### 「案内グループ」

☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演

☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド  
高齢者・身障者の観覧補助  
出張活動の実施

#### 「科学グループ」

☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明、サイエンスフェスティバルへの参加

☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

#### 「天文グループ」

☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

#### 「運営部会」

☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。

☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。

☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

## V 令和5年度広報・営業活動

### 1 広報PR活動

#### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

##### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行する。

☆構 成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

##### 学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

##### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

##### メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、天文の紹介などを毎月メールで配信する。

##### テレビスポット

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

##### 新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

##### 広報紙及び雑誌等への掲載

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努める。

##### 看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペデストrianデッキへのフラッグバナーの掲示な

どを行う。

#### **SNS 等による情報発信（#おうちでスペパ）**

Facebook によるイベントや番組の情報発信を行う。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスペパ」を行う。

#### **(2) 広報紙の配布**

広報紙を県内各地に配布する。

## **2 営業活動**

民間事業者を中心に科学館の施設及び事業内容を紹介するための、営業活動を展開する。

## VI 予算・決算

### 1 令和4年度決算

#### 収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	241,622,670	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	23,037,040	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	85,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
販売手数料収入	17,800	カブセル玩具販売手数料
雑収入	7,371,751	郡山市光熱水費補填
雑収入	426,035	雇用保険料個人負担分
合 計	272,560,296	

収入合計 ￥272,560,296

#### 支出

#### 事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	73,810,104	1 職員費 121,876,090
福利厚生費	18,358,479	2 各種業務委託 59,235,384
臨時雇賃金	29,707,507	3 光熱水費 25,225,393
旅費交通費	167,340	4 施設管理費 33,191,538
通信運搬費	1,482,054	
消耗什器備品費	0	
消耗品費	1,821,467	
修繕費	1,544,070	
印刷製本費	1,659,230	
賃借料	5,424,584	
諸謝金	0	
手数料	88,911	
租税公課	16,595,606	
負担金支出	106,440	
委託費	59,235,384	
広告宣伝費	1,122,000	
燃料費	79,291	
光熱水料費	25,225,393	
損害保険料	293,321	
食糧費	3,499	
減価償却費	2,803,725	
合 計	239,528,405	

#### 事業費（科学館事業）

科 目	金 額	説 明
旅費交通費	365,470	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	0	2 展示ゾーン運営
消耗品費	2,717,502	3 展望ロビー利活用事業
印刷製本費	2,698,300	4 教育普及活動
賃借料	11,338,211	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	453,900	6 その他
手数料	2,520	
租税公課	4,000	
負担金支出	0	
委託費	12,162,555	
広告宣伝費	255,200	
損害保険料	83,326	
食糧費	170,974	
合 計	30,251,958	

支出合計 ￥269,780,363

収支差額 ￥2,779,933

## 参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	21,985,240	宇宙劇場 49,919 人 常設展示 49,595 人 ワイヤーパスポート 106 人
ふれあい科学館使用料	1,051,800	ビュースコープ利用回数 4,608 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 2,955 回
合計	23,037,040	

## 2 令和5年度予算

### 収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	241,632,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	27,000,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	150,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	1,000	
雑収入	725,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	35,303,000	
合計	304,811,000	

収入合計 ￥304,811,000

### 支出

#### 事業費（科学館施設管理）

科目	金額	説明
給料手当	81,989,000	1 職員費 141,615,000
福利厚生費	21,915,000	2 各種業務委託 58,453,000
臨時雇賃金	37,711,000	3 光熱水費 32,179,000
旅費交通費	467,000	4 施設管理費 32,283,000
通信運搬費	2,158,000	
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,872,000	
修繕費	2,600,000	
印刷製本費	2,010,000	
賃借料	5,427,000	
諸謝金	0	
手数料	282,000	
租税公課	13,673,000	
負担金支出	155,000	
委託費	58,453,000	
広告宣伝費	1,300,000	
燃料費	123,000	
光熱水料費	32,179,000	
損害保険料	316,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	874,000	
合計	264,530,000	

#### 事業費（科学館事業）

科目	金額	説明
臨時雇賃金	56,000	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	330,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	135,000	3 展望ロビー利活用事業
消耗品費	5,011,000	4 教育普及活動
印刷製本費	6,397,000	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
賃借料	8,690,000	6 その他
諸謝金	568,000	
手数料	13,000	
租税公課	11,000	
負担金支出	20,000	
委託費	18,236,000	
広告宣伝費	261,000	
損害保険料	214,000	
食糧費	339,000	
合計	40,281,000	

支出合計 ￥304,811,000

## VII 施設利用状況

### 1 月別入館者数

令和4年4月～令和5年3月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
令和4年4月	9,191	2,092	2,077	4,169
5月	11,923	3,171	3,257	6,428
6月	13,750	5,623	4,284	9,907
7月	17,563	6,240	6,473	12,713
8月	21,547	6,930	8,349	15,279
9月	13,619	4,616	4,145	8,761
10月	13,291	3,037	3,919	6,956
11月	9,848	2,719	2,253	4,972
12月	16,408	5,254	4,686	9,940
令和5年1月	11,590	3,863	3,736	7,599
2月	9,642	2,552	2,281	4,833
3月	14,145	3,822	4,135	7,957
合計	162,517	49,919	49,595	99,514

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成 29 年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成 30 年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203
令和 2 年度	98,078	29,230	22,327	51,557
令和 3 年度	117,301	33,111	30,607	63,718

令和4年度	162,517	49,919	49,595	99,514
合計	5,172,004	1,444,960	1,470,343	2,915,303

## 2 施設別入館者数

### 宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	599	37	37	2	10	1,435	144	21	2	26	2,034	78	58	1
5月	14	422	30	50	4	12	2,699	225	0	0	26	3,121	120	50	0
6月	18	1,400	78	2,522	140	8	1,701	213	0	0	26	3,101	119	2,522	21
7月	17	1,607	95	1,223	72	11	3,378	307	32	3	28	4,985	178	1,255	7
8月	21	3,969	189	385	18	9	2,576	286	0	0	30	6,545	218	385	2
9月	16	657	41	1,718	107	10	2,241	224	0	0	26	2,898	111	1,718	15
10月	15	527	35	480	32	11	1,936	176	94	9	26	2,463	95	574	6
11月	16	604	38	349	22	10	1,766	177	0	0	26	2,370	91	349	4
12月	16	880	55	307	19	11	4,067	370	0	0	27	4,947	183	307	2
1月	10	632	63	182	18	11	3,049	277	0	0	21	3,681	175	182	1
2月	15	555	37	45	3	9	1,952	217	0	0	24	2,507	104	45	0
3月	19	1,552	74	94	5	9	2,150	239	26	3	28	3,702	132	120	1
合計	193	13,404	69	7,392	38	121	28,950	239	173	1	314	42,354	135	7,565	24

### 展示ゾーン

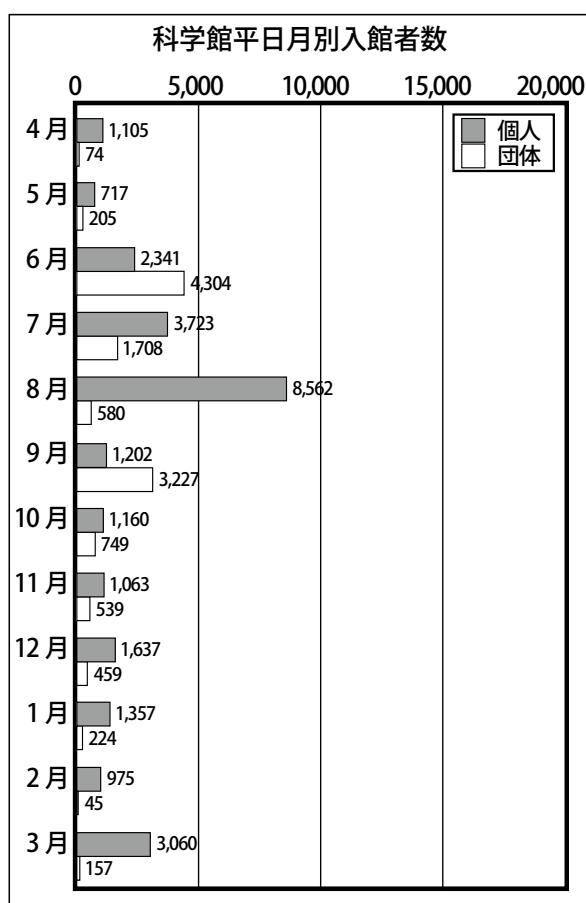
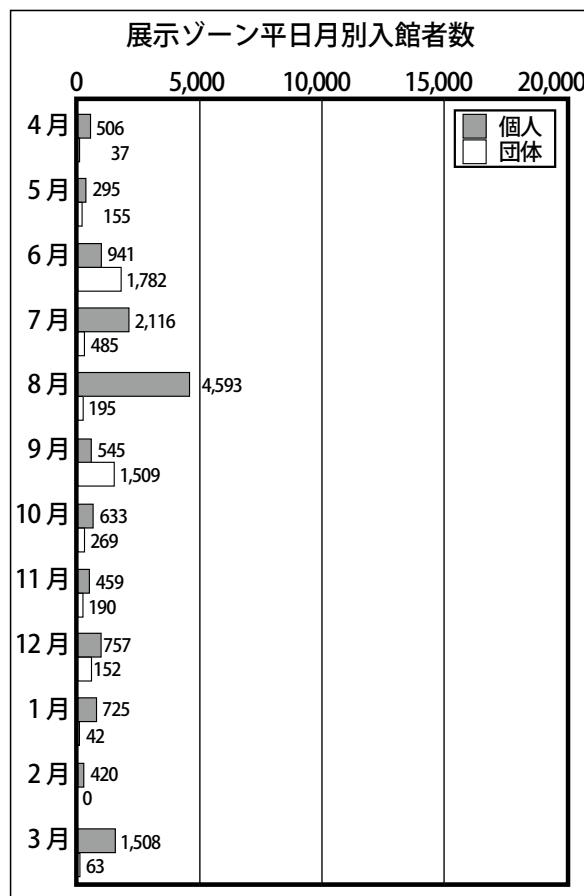
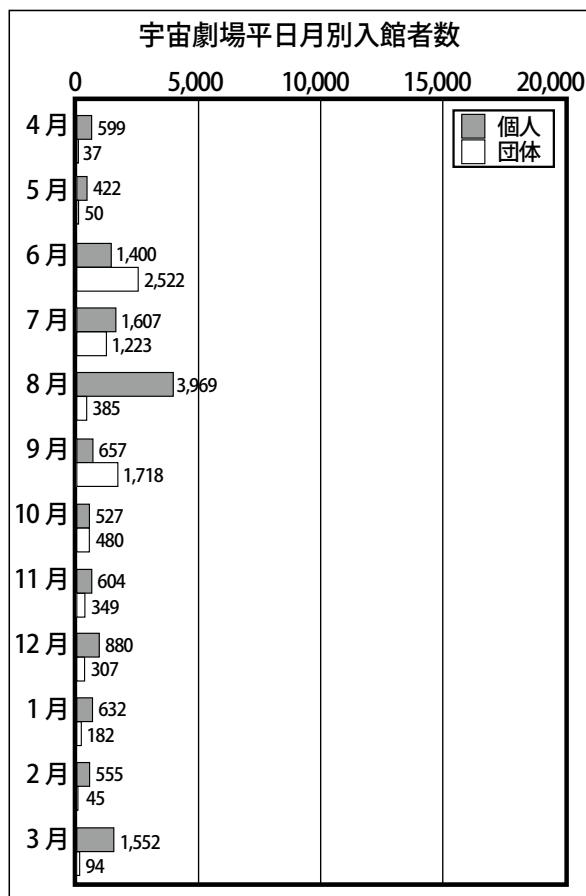
(単位：人)

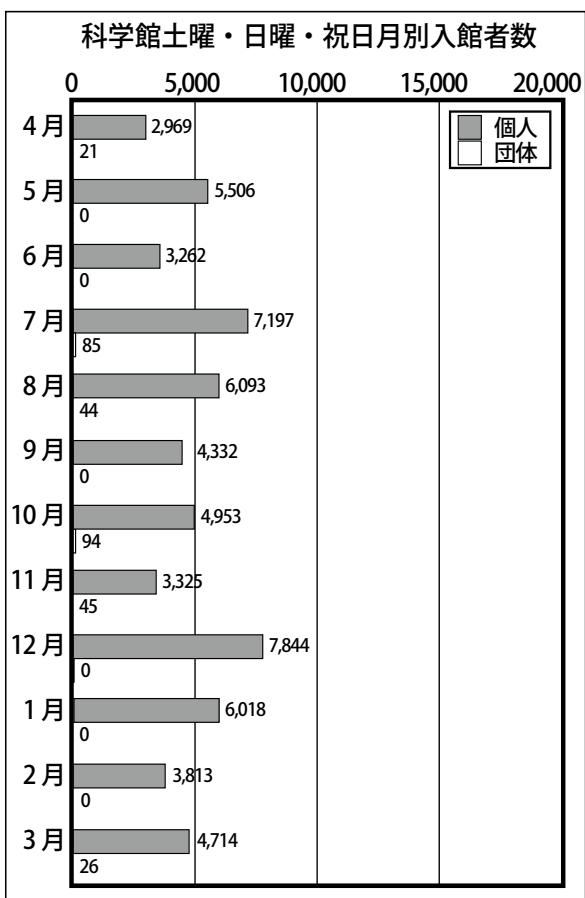
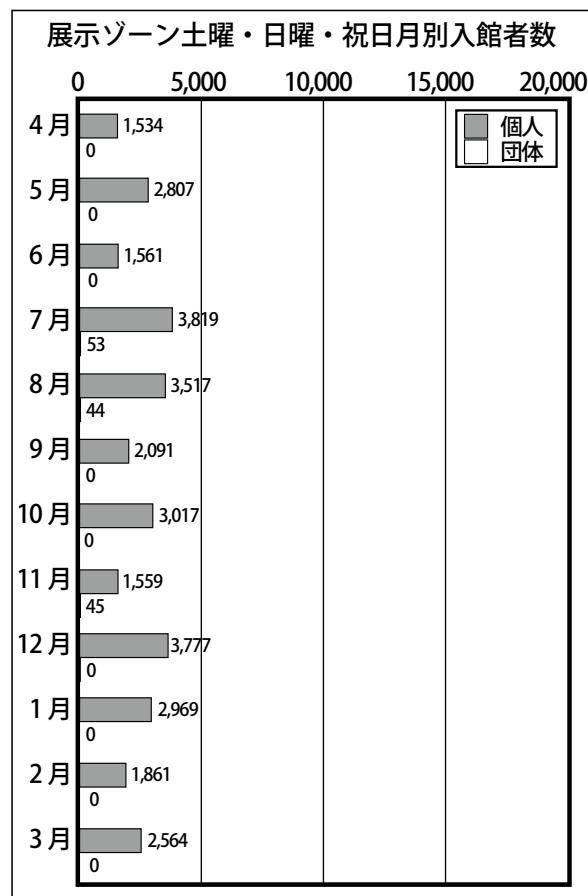
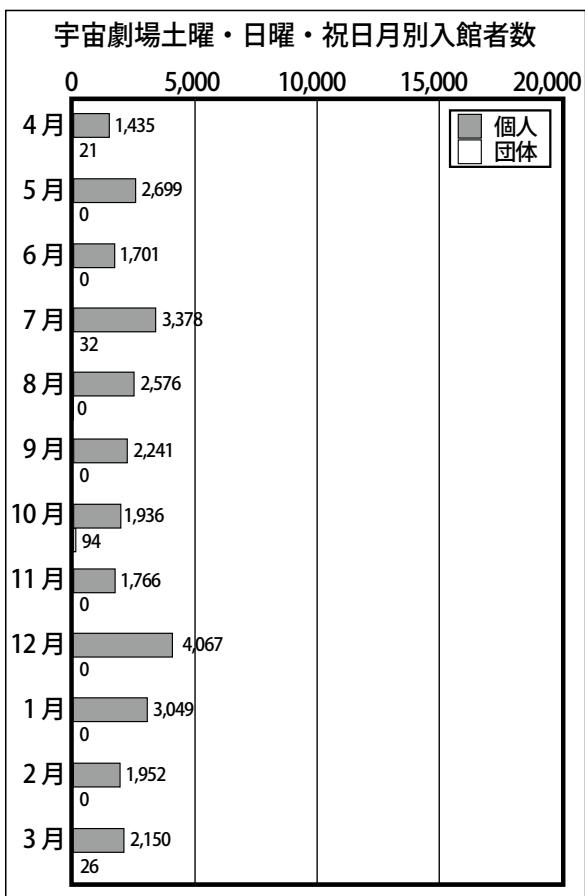
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	506	32	37	2	10	1,534	153	0	0	26	2,040	78	37	1
5月	14	295	21	155	11	12	2,807	234	0	0	26	3,102	119	155	0
6月	18	941	52	1,782	99	8	1,561	195	0	0	26	2,502	96	1,782	40
7月	17	2,116	124	485	29	11	3,819	347	53	5	28	5,935	212	538	7
8月	21	4,593	219	195	9	9	3,517	391	44	5	30	8,110	270	239	1
9月	16	545	34	1,509	94	10	2,091	209	0	0	26	2,636	101	1,509	0
10月	15	633	42	269	18	11	3,017	274	0	0	26	3,650	140	269	12
11月	16	459	29	190	12	10	1,559	156	45	5	26	2,018	78	235	14
12月	16	757	47	152	10	11	3,777	343	0	0	27	4,534	168	152	3
1月	10	725	73	42	4	11	2,969	270	0	0	21	3,694	176	42	2
2月	15	420	28	0	0	9	1,861	207	0	0	24	2,281	95	0	0
3月	19	1,508	74	63	3	9	2,564	285	0	0	28	4,072	145	63	0
合計	193	13,498	70	4,879	25	121	31,076	257	142	1	314	44,574	142	5,021	16

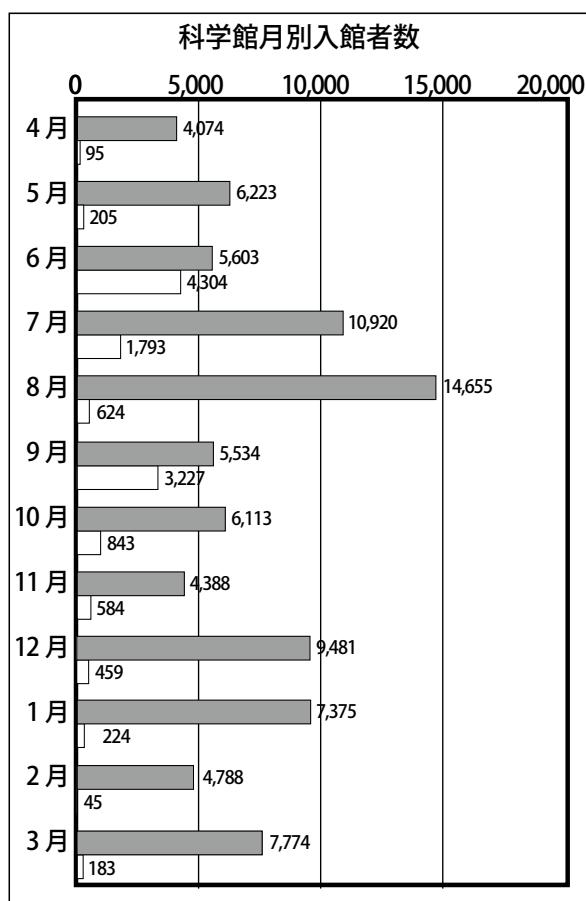
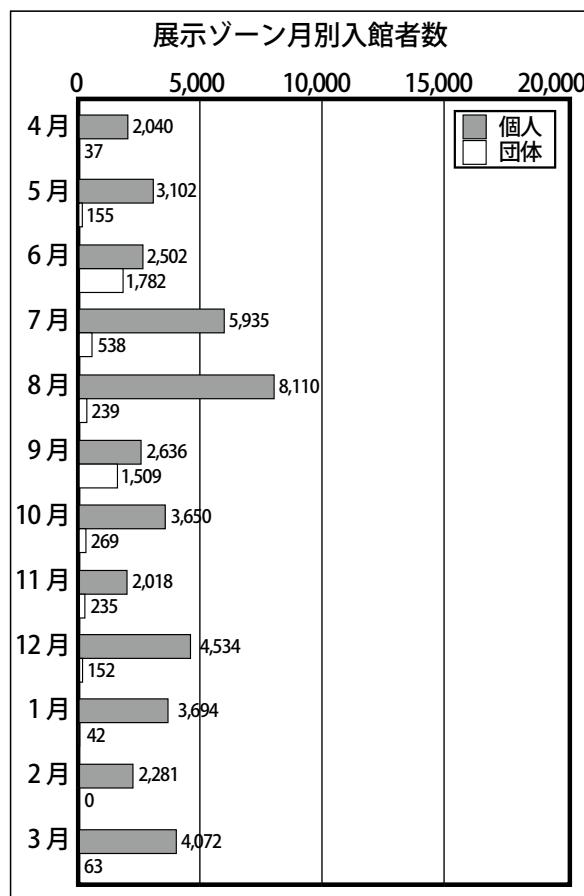
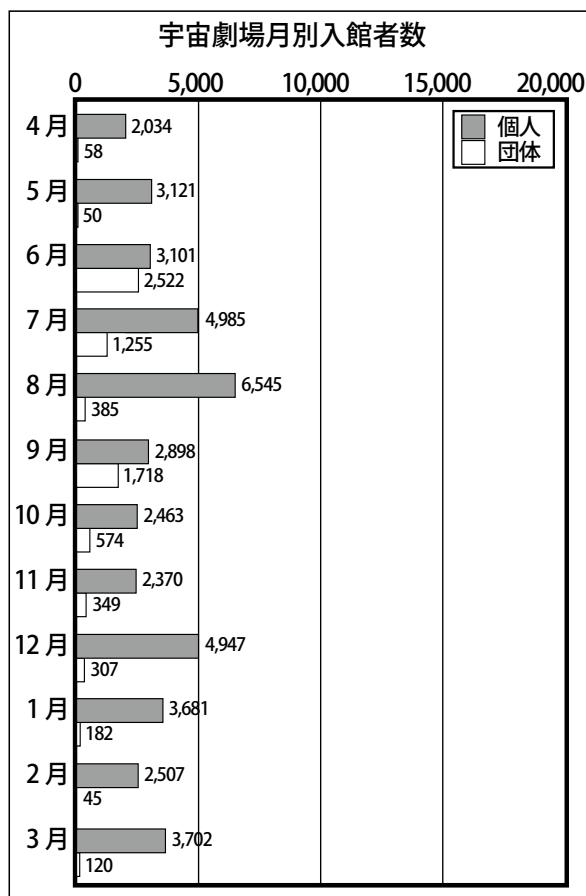
### 合計

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,105	69	74	5	10	2,969	297	21	2	26	4,074	157	95	1
5月	14	717	51	205	15	12	5,506	459	0	0	26	6,223	239	205	0
6月	18	2,341	130	4,304	239	8	3,262	408	0	0	26	5,603	216	4,304	40
7月	17	3,723	219	1,708	100	11	7,197	654	85	8	28	10,920	390	1,793	7
8月	21	8,562	408	580	28	9	6,093	677	44	5	30	14,655	489	624	1
9月	16	1,202	75	3,227	202	10	4,332	433	0	0	26	5,534	213	3,227	0
10月	15	1,160	77	749	50	11	4,953	450	94	9	26	6,113	235	843	12
11月	16	1,063	66	539	34	10	3,325	333	45	5	26	4,388	169	584	14
12月	16	1,637	102	459	29	11	7,844	713	0	0	27	9,481	351	459	3
1月	10	1,357	136	224	22	11	6,018	547	0	0	21	7,375	351	224	2
2月	15	975	65	45	3	9	3,813	424	0	0	24	4,788	200	45	0
3月	19	3,060	161	157	8	9	4,714	524	26	3	28	7,774	278	183	0
合計	193	26,902	139	12,271	64	121	60,026	496	315	3	314	86,928	277	12,586	40







### 3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	177	406	123	989	106	233	2,034
5月	267	623	198	1,623	124	286	3,121
6月	223	401	123	1,201	122	1,031	3,101
7月	480	1,175	230	2,318	179	603	4,985
8月	533	1,645	431	3,047	328	561	6,545
9月	227	526	244	1,396	170	335	2,898
10月	231	385	135	1,113	158	441	2,463
11月	251	365	147	1,182	165	260	2,370
12月	648	1,027	252	2,194	204	622	4,947
1月	501	774	192	1,683	107	424	3,681
2月	277	355	181	1,345	103	246	2,507
3月	301	618	366	1,600	228	589	3,702
合 計	4,116	8,300	2,622	19,691	1,994	5,631	42,354

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	40	0	18	0	58	2,092
5月	30	18	0	2	0	50	3,171
6月	660	1,534	58	133	137	2,522	5,623
7月	655	480	0	82	38	1,255	6,240
8月	0	303	0	82	0	385	6,930
9月	236	1,398	0	81	3	1,718	4,616
10月	195	290	0	57	32	574	3,037
11月	183	153	0	13	0	349	2,719
12月	88	173	0	6	40	307	5,254
1月	130	40	0	12	0	182	3,863
2月	0	0	0	0	45	45	2,552
3月	31	69	0	13	7	120	3,822
合 計	2,208	4,498	58	499	302	7,565	49,919

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	1	0	0	0	1	2
5月	1	1	0	0	0	0	2
6月	17	28	2	0	1	2	50
7月	8	1	0	0	0	3	12
8月	0	0	0	0	0	9	9
9月	4	29	0	0	0	0	33
10月	7	5	0	0	0	2	14
11月	3	2	0	0	0	0	5
12月	2	2	0	0	1	3	8
1月	2	0	0	0	0	1	3
2月	0	0	0	0	2	0	2
3月	1	0	0	0	0	3	4
合 計	45	69	2	0	4	24	144

## 4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個　人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	585	91	885	479	2,040
5月	782	168	1,443	709	3,102
6月	480	85	992	945	2,502
7月	1,610	175	2,474	1,676	5,935
8月	2,371	337	3,604	1,798	8,110
9月	626	145	1,163	702	2,636
10月	697	84	1,726	1,143	3,650
11月	444	90	866	618	2,018
12月	1,147	158	1,986	1,243	4,534
1月	883	135	1,575	1,101	3,694
2月	435	137	1,116	593	2,281
3月	1,013	296	1,698	1,065	4,072
合　計	11,073	1,901	19,528	12,072	44,574

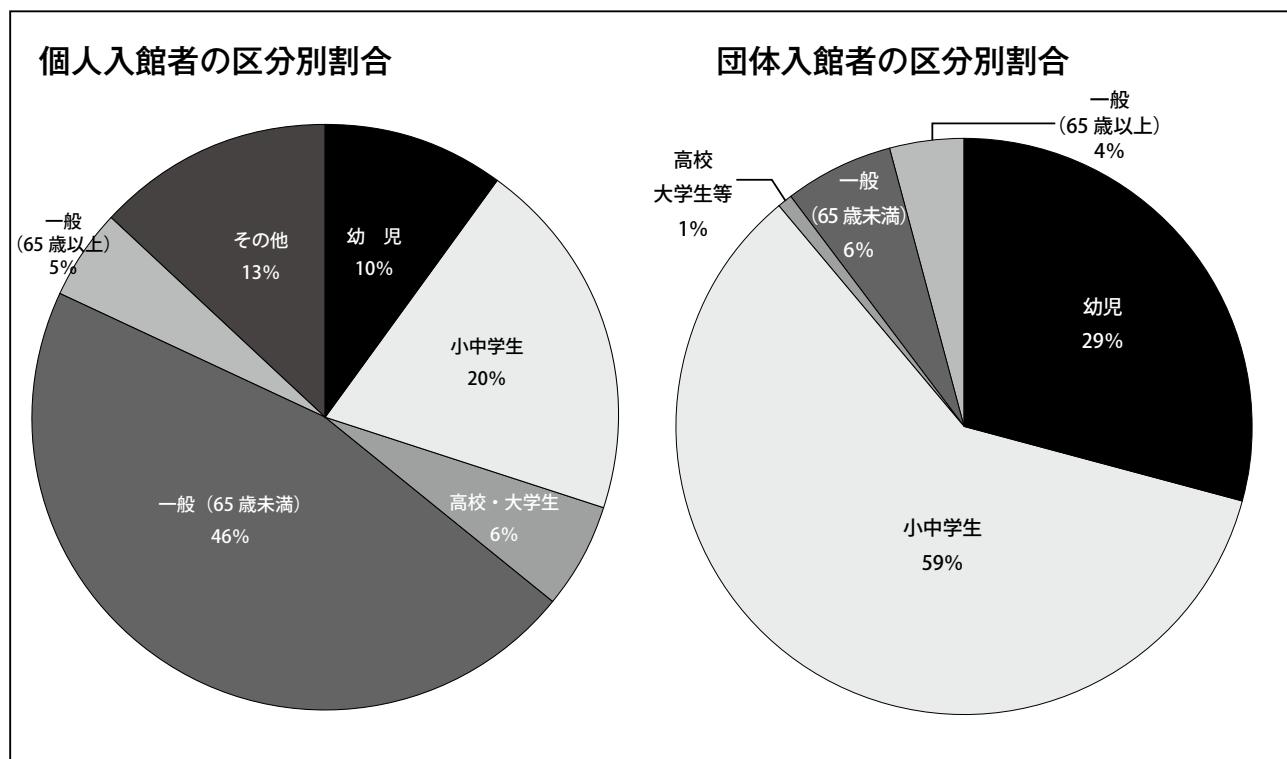
(単位：人)

月	団　体				合　計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	37	0	0	37	2,077
5月	147	0	8	155	3,257
6月	1,713	0	69	1,782	4,284
7月	480	26	32	538	6,473
8月	172	5	62	239	8,349
9月	1,460	0	49	1,509	4,145
10月	265	0	4	269	3,919
11月	214	0	21	235	2,253
12月	151	0	1	152	4,686
1月	40	0	2	42	3,736
2月	0	0	0	0	2,281
3月	58	0	5	63	4,135
合　計	4,737	31	253	5,021	49,595

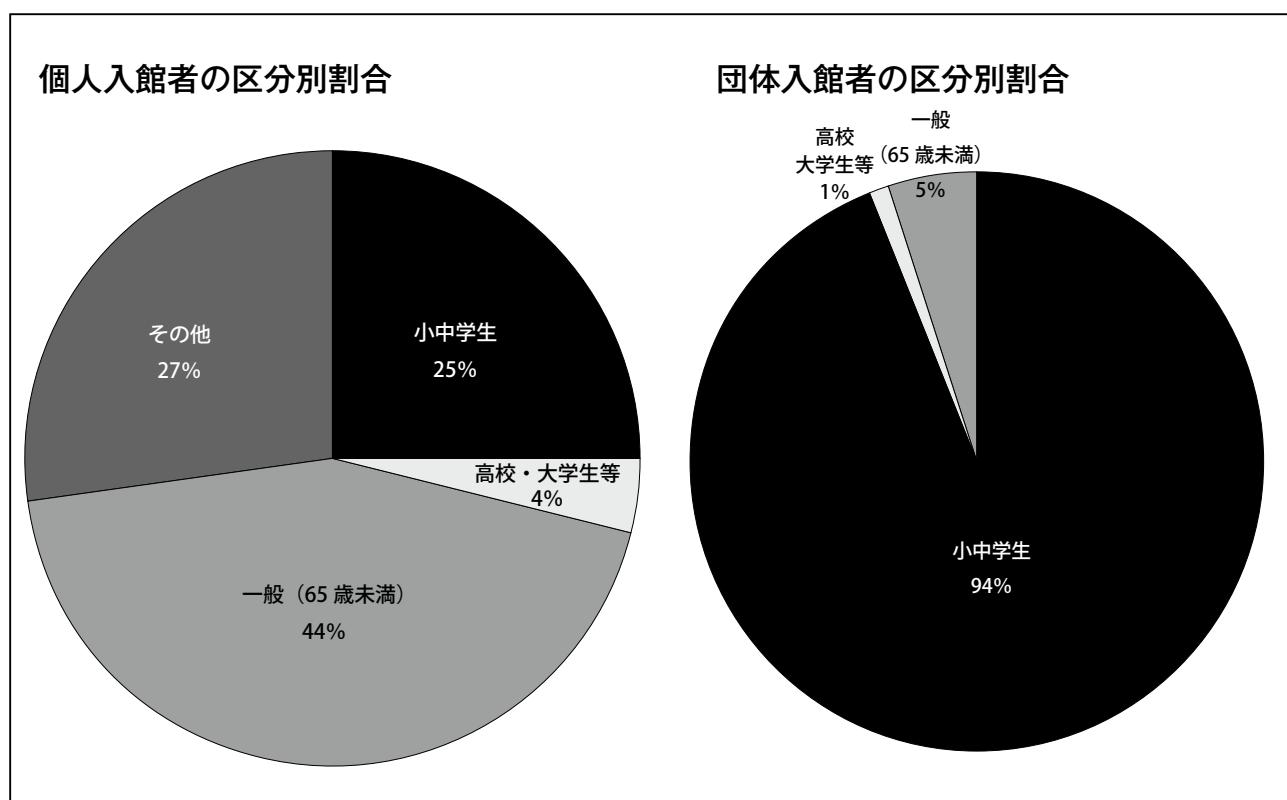
(単位：団体)

月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	1	0	0	0	1
5月	3	0	0	0	3
6月	31	0	0	0	31
7月	9	1	0	2	12
8月	0	0	0	6	6
9月	29	0	0	0	29
10月	5	0	0	0	5
11月	3	0	0	1	4
12月	1	0	0	3	4
1月	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	2	2
合　計	82	1	0	15	98

## 宇宙劇場入館者の区別割合



## 展示ゾーン入館者の区別割合



## 5 平成 29 年度から令和 3 年度までの入館者数の変遷

平成 29 年度

(単位 : 人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

平成 30 年度

(単位 : 人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 30 年4月	12,909	2,917	3,160	6,077
5月	15,064	3,553	4,613	8,166
6月	14,764	5,179	5,170	10,349
7月	20,953	8,558	6,965	15,523
8月	30,503	10,680	10,991	21,671
9月	17,307	6,330	5,197	11,527
10月	15,410	3,991	4,852	8,843
11月	13,275	3,828	2,867	6,695
12月	25,818	5,713	11,573	17,286
平成 31 年1月	16,020	3,604	6,745	10,349
2月	12,435	4,805	2,822	7,627
3月	17,563	5,665	4,963	10,628
合計	212,021	64,823	69,918	134,741

## 令和元年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成31年4月	15,298	3,846	4,542	8,388
令和元年5月	14,962	3,738	4,548	8,286
6月	13,290	5,189	4,774	9,963
7月	25,712	8,316	11,233	19,549
8月	38,322	11,404	16,084	27,488
9月	16,831	5,421	5,293	10,714
10月	11,024	3,003	2,820	5,823
11月	11,959	2,703	2,545	5,248
12月	22,076	6,180	8,190	14,370
令和2年1月	14,907	4,448	5,207	9,655
2月	10,587	2,080	2,769	4,849
3月	0	0	870	870
合計	194,968	56,328	68,875	125,203

## 令和2年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和2年4月	0	0	78	78
5月	1,833	259	156	415
6月	5,790	1,569	1,047	2,616
7月	9,397	3,320	2,136	5,456
8月	14,116	6,374	4,187	10,561
9月	11,804	4,566	3,794	8,360
10月	10,124	2,586	2,614	5,200
11月	11,401	3,027	2,271	5,298
12月	11,031	2,609	2,004	4,613
令和3年1月	6,422	1,496	1,191	2,687
2月	6,488	1,623	1,186	2,809
3月	9,672	1,801	1,663	3,464
合計	98,078	29,230	22,327	51,557

令和3年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
令和2年4月	7,774	1,257	1,211	2,468
5月	9,507	1,610	2,099	3,709
6月	10,072	3,598	2,465	6,063
7月	14,330	4,746	4,128	8,874
8月	12,236	3,960	3,711	7,671
9月	1,649	285	292	577
10月	12,822	3,798	3,942	7,740
11月	14,030	4,290	3,581	7,871
12月	17,835	4,962	4,877	9,839
令和3年1月	8,800	2,623	2,516	5,139
2月	0	0	0	0
3月	8,246	1,982	1,785	3,767
合計	117,301	33,111	30,607	63,718

## 6 令和4年度施設利用状況の結果分析

### (1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○令和4年度：99,514人（前年度：63,718人）

○前年度比：約56.1%増（35,796人増）

☆展望ロビー入館者数

○令和4年度：162,517人（前年度：117,301人）

○前年度比：約38.5%増（45,216人増）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：8,292人（前年度：5,309人）

○展望ロビー：13,543人（前年度：9,775人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約61.2%

（前年度比：約6.9%増 ※前年度：約54.3%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4.1%	6.4%	10%	12.8%	15.3%	8.9%	7%	5%	10%	7.6%	4.9%	8%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
168.9%	173.3%	163.4%	143.2%	199.1%	1518.3%	89.8%	63.1%	101%	147.8%	0%	211.2%

### (2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：33,111人）

○令和4年度：49,919人 ○前年度比：約50.7%増

☆展示ゾーン入館者数（前年度：30,607人）

○令和4年度：49,595人 ○前年度比：約62%増

### (3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：51,867人）

○令和4年度：86,928人 ○前年度比：約67.5%増

☆団体利用者数（前年度：11,851人）

○令和4年度：12,586人 ○前年度比：約6.2%増

☆来館形態比

○個 人：約87.4%（前年度：約81.4%）

○団 体：約12.6%（前年度：約18.6%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平 日：約39.4%（前年度：約42.2%）

○土・日・祝：約60.6%（前年度：約57.8%）

#### (4) 区別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数(割合 ※総数：49,919人)

○幼児：6,324人（約12.7%） 内訳＝個人：4,116人 団体：2,208人

○小・中学生：12,798人（約25.6%） 内訳＝個人：8,300人 団体：4,498人

○高校・大学生：2,680人（約5.4%） 内訳＝個人：2,622人 団体：58人

○一般（65歳未満）：20,190人（約40.4%） 内訳＝個人：19,691人 団体：499人

○一般（65歳以上）：2,296人（約4.6%） 内訳＝個人：1,994人 団体：302人

○その他（障がい者など）：5,631人（約11.2%）

☆展示ゾーン区分別入館者数(割合 ※総数：49,595人)

○小・中学生：15,810人（約31.9%） 内訳＝個人：11,073人 団体：4,737人

○高校・大学生：1,932人（約3.9%） 内訳＝個人：1,901人 団体：31人

○一般（65歳未満）：19,781人（約39.9%） 内訳＝個人：19,528人 団体：253人

○その他（幼児、障がい者など）：12,072人（約24.3%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65歳未満）」が最も多く約40.1%、次いで「小・中学生」約28.7%と、昨年度と同様に「一般（65歳未満）」が多い結果となりました。

#### (5) 総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が99,514人で約56%増、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が21,985,240円で約76.2%増、展望ロビーにおける施設利用料金が1,051,800円と前年度と比べ約65%の増となりました。

入館者数、宇宙劇場・展示ゾーン及び展望ロビーの施設利用料金収入が増加したのは、前年度は「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」による2度の休館を余儀なくされましたが、今年度は1年を通して開館できたこと、それに加え個人利用での入館者が51,867人から35,061人と多かったことが大きな要因と考えられます。

コロナ禍3年目を迎える入館者数及び施設利用料金も、コロナ禍前の令和元年度の入館者数125,203人、施設利用料金24,998,640円と比較すると入館者数は約79%程度、施設利用料金は約87%程度と回復傾向となっています。

このような状況の中、今年度から新たにキャッシュレス決済及び企画展や講演会などのイベント申込にウェブサイト予約を導入するなど、利用者の利便性向上につながるDX（デジタルトランスフォーメーション）化に取り組んできました。

また、広報についても、ウェブサイト及びYouTube、Instagram、FacebookにLINEも新たに加えて、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、幅広い年代層の市民の皆様方に科学館の魅力を発信してまいります。

そして、ウイズコロナ・アフターコロナの時代を見据えて、市民の皆様のニーズを

捉えるべく情報収集を行いながら、事業の実施、内容の充実を図り、市民の皆様に安全・安心して楽しんでいただける館運営に努めていきたいと考えております。

## VIII その他

### 1 条例・規則

#### (1) 条例

##### ○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日  
郡山市条例第 33 号

##### (設置)

第1条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。）第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）を設置する。

##### (名称及び位置)

第2条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第3条 削除

##### (事業)

第4条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

##### (開館時間)

第5条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分（入館は、午後 5 時）までとする。

ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

##### (休館日)

第6条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるとときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。）
  - (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日
- 2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

##### (観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

#### (観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

#### (観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

#### (利用の制限)

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

#### (入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

#### (管理の代行)

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

#### (指定管理者の募集の公告等)

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、

あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

#### (指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあっては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

#### (指定管理者の選定)

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があったときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適當と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に發揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的 ability その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

#### (指定管理者の指定)

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

#### (協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、

規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

#### (事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあっては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

#### (利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として收受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として收受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

#### (指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

#### (開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

#### (事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で

定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならぬ。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

- 2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

#### (秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

#### (指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

#### (指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

#### (委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

#### (施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のように] 略

#### 附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

#### 附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号)抄

#### (施行期日)

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手續、処分その他の行為とみなす。

**附 則(平成29年郡山市条例第47号)**

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

\*別表以下省略

## (2) 規則

### ○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日

郡山市規則第 26 号

#### (趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

#### (観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

#### (観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

#### (観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

#### (遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

#### (募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期

- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他市長が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

#### **(申請書等)**

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにできる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにできる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他市長が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準すべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
  - ア 破産者で復権を得ないもの
  - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準すべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの
  - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの
  - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員
- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準すべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるもの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。
- (3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

### (選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書（第5号様式）によるものとする。

### (指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書（第6号様式）により申請した団体に通知するものとする。

### (協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

### (事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準すべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

### (委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

### (経過措置)

- 2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成27年郡山市教育委員会規則第1号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成13年郡山市教育委員会規則第12号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。
- 3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

### 附 則（平成30年郡山市規則第26号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

### 附 則（平成30年郡山市規則第48号）

この規則は、公布の日から施行する。

## 2 利用案内

### <普通観覧料>

区分	常設展示	宇宙劇場
一般	400円	400円
高校生・大学生等	300円	300円
小中学生	200円	200円
幼児・65歳以上	無料	100円

※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料  
※団体割引…20名以上の団体は20% OFF

### <定期観覧料（ワンイヤーパスポート）>

区分	常設展示・宇宙劇場共用 (同人が1年間観覧する場合)
一般	4,000円
高校生・大学生等	3,000円
小中学生	2,000円

### <宇宙劇場番組開始時間>

投映回数	平 日	土・日・祝日
1回目	10:15	11:00
2回目	11:30	12:30
3回目	14:00	14:00
4回目	15:30	15:30
5回目		17:00
6回目	19:00 ※金曜日のみ(祝日を除く)	

※番組開始時刻は変更になる場合があります。

### <開館時間>

常設展示…10:00～17:45（入場は17:00まで）

宇宙劇場…10:00～17:45（入場は17:00まで）

※金曜日は10:00～19:45（入場は19:00まで）

### <休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28～1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

### <展望ロビー>

10:00～20:00

### 3 スペースパークボランティアの会会則

#### スペースパークボランティアの会会則

##### (名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

##### (目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

##### (活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、随時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内グループ
- (2) 科学グループ
- (3) 天文グループ

##### (会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

##### (研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

##### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。

3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

#### (職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

#### (会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

(1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。

(2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。

(3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

(1) 総務部会

(2) 企画部会

(3) 広報部会

#### (登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

(1) 退会届の提出をした場合

(2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合

(3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合

(4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合

(5) 政治活動や宗教活動を行った場合

(6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合

(7) 営利を目的とした行為を行った場合

(8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

#### (年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

#### (委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

#### (改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

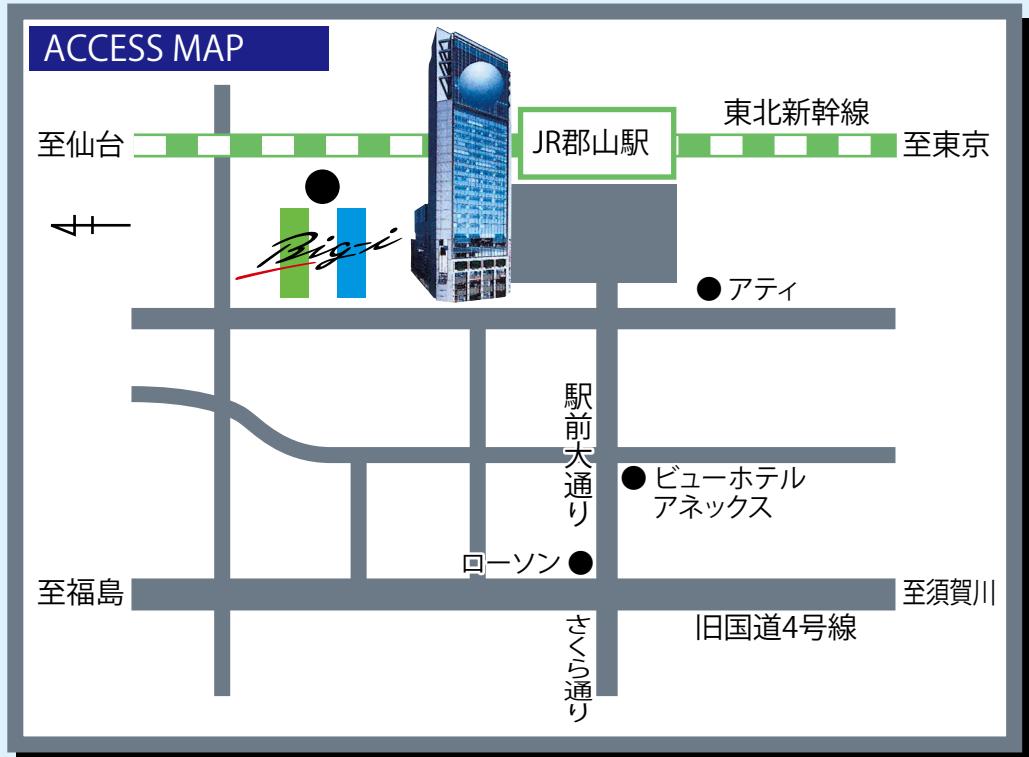
この会則は、平成16年2月15日から施行する。

この会則は、平成17年3月13日から施行する。

この会則は、平成18年3月5日から施行する。

この会則は、平成26年4月1日から施行する。

## 〈アクセスマップ〉



## 郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20~24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

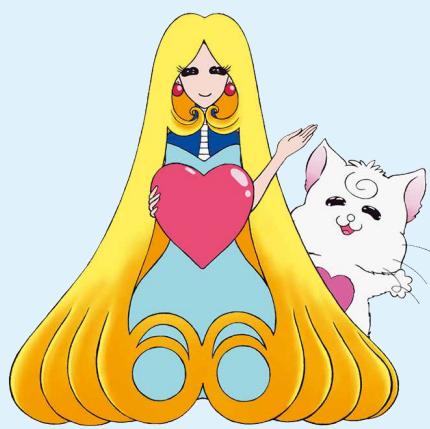
メールアドレス [info@space-park.jp](mailto:info@space-park.jp)

ウェブサイト <https://space-park.jp>

スペースパーク

検索

Facebook · Instagram · YouTube · LINE配信中!



エンゼルナ & ミニーャン

©松本零士／郡山市